

項目	令和6年度計画	令和6年度 事業実績	令和6年度 事業実績 具体的内容	達成度
職員配置	●予算人員 理事長 1名（兼務） 常務理事1名（兼務）、事務局長1名（兼務） 事務局員4名（出向） 内、1名は育児休業取得予定 非常勤 1名（産業医） 合計 8名（内3名は兼務、4名は出向）	●実績人員 ●実績 理事長 1名（うらら園長兼務） 常務理事1名（たつみ、ひのか副園長兼務）、 事務局長1名（常務理事兼務） 事務局員4名（出向）内1名育児休業取得 合計7名（内、2名は兼務、4名は出向）	●産業医については、年度途中で雇用契約から業務委託契約に切り替えを行ったため、実績人員への記載は行っていない。	
重点項目	1. 健康管理の充実 ○生活習慣病の改善 定期健康診断により、指摘が多い高血圧、高脂質、高血糖など有所見者に対し健康指導を行っていくほか、衛生委員会が中心になり、健康診断検査項目の拡大など、数値の改善にむけた取組方法を工夫しながら周知を図る。 ○メンタルケアの充実 ストレスチェック制度について再度職員に周知し、回答率を上げることに努めていく。 ○衛生委員会との連携 衛生委員会の議事内容を把握し、衛生委員会の活動と連携して職員の健康維持に努める。 2. 本部建物の外部修繕の実施 ○補助金の申請に向けて（2024年度は7月中旬締め切り予定）相談を行い、資料を整えていく。 補助金決定の内示は2024年の11下旬頃。その後（内示後2カ月以内）、工事業者の入札等を経て2025年に着工予定。	1. 健康管理の充実 ○生活習慣病の改善 ・健康診断を、うらら、高齢部門は5月に実施。たつみ、ひのか、学童は11月に実施した。 ○メンタルケアの充実 ・ストレスチェックの実施は12月に実施。高ストレス者については産業医の面談などを勧めた。 ○衛生委員会との連携 衛生委員会の議事内容を把握し、衛生委員会の活動と連携して職員の健康維持に努める。 2.本部建物の外部修繕の実施 ・本体建物全体の工事となる為、保育園按分部分の補助金獲得に向けて葛飾区と協議を実施した。 ・以前より検討している東京都の大規模修繕補助金および葛飾区の大規模修繕上乗せ補助金については協議を行い、2025年1月に申請書を提出。2025年5月に内示予定。 補助金を超えての費用については積立金と借入金にて対応予定。	1. 健康管理の充実 ○生活習慣病の改善 ・検査結果に合わせて有所見者に対して、健康指導や数値改善に向けての提案を衛生委員会と協同して行った。 ・定期健康診断の分析を行い、産業医から指示があった再受診者・再検査者のフォローアップを実施した。 ○メンタルケアの充実 ・高ストレス判定者にはEAP医師との面談を勧めた。 ・1名が面談を実施。 衛生委員会実施内容 ※議題の無い月は産業医の訪問のみ 5月 言いたいことを上手に伝える ～自己主張の極意～ 7月 怒りのコントロール ～アンガーマネジメント～ 9月 いまさら聞けない ～熱中症対策～ 10月 あなたの頭痛はどのタイプ？～頭痛のタイプと対策～ 11月 多くの人が知らない 肝臓の健康を守るコツ 2月 あなたは知っている？タンパク質のあれこれ 2.本部建物の外部修繕の実施 ・保育園部門の補助金については、補助基準額の積み上げには至らず獲得することが出来なかった。 ・工事費総額174,350,000円に対して、東京都への補助金申請額が69,410,000円、葛飾区への補助金申請額が35,230,000円、東京都福祉医療機構への借入金申請額が40,000,000円、残金の29,710,000円を法人の積立金等の自己資金で計画を行った。	1. 健康管理の充実 90% ・健康診断有所見者や高ストレス者には衛生委員から声掛けを行った。また、有所見者は産業医と・高ストレス者に対してはEAP医師との面談を勧め、健康維持に努めた。 2. 本部建物の外部修繕の実施 95% ・令和7年6月に内示の予定。東京都、葛飾区及び福祉医療機構と密に連絡を取り、工事の着工を目指す。

項目	令和 6 年度計画	令和 6 年度 事業実績	令和 6 年度 事業実績 具体的内容	達成度
	3. 安定運営に向けた人材確保と 空きスペースの活用 ○保育部門 昨年度に引き続き外注の求人ページを活用しながら、職員の安定確保に向けて就職フェアなどに参加していく。また、ホームページの記載内容について検討していく。 ○高齢部門 外国人労働者の採用について、積極活用を検討する。宿舍借上げ制度など、職員の処遇改善に向けた制度については協同して取り入れを検討する。 ○1階和室を有効活用した事業展開を検討し、開始に向けて準備を進めていく。	3. 安定運営に向けた人材確保と空きスペースの活用 ○保育部門 外部業者主催、保育団体・行政主催の就職フェアに計3回参加。 ○高齢部門 外国人人材を公的紹介会社活用により8月より3名採用した。 ・外部講師の講演から、事業展開に向けた情報を新たに収集し、具体的な活用内容を検討していく。	3. 安定運営に向けた人材確保と空きスペースの活用 令和7年度採用職員 正規保育士6名（内2名は非常勤職員からの雇用変更） 正規支援員1名 令和7年度採用職員 正規介護士1名（外国人人材） ・5月に東京おもちゃ美術館館長 多田千尋氏を講師に招き、講演を実施した。	3. 安定運営に向けた人材確保と 空きスペースの活用 80% ・保育部門は令和7年度の必要職員の確保までは至らなかった。引き続き、人材の確保に努める。 ・高齢部門は必要職員の確保を行い、組織再編の地盤を作ることができた。更なる人材確保に努める。 ※令和8年度以降も職員の確保が必要となることが予測されるため、外部業者などを活用して人材確保に努める。 ・活用に向けて、他法人の取り組み事例など、引き続き調査していく。
その他	1. 理事会・評議員会の開催状況 (1) 令和6年度第1回理事会 (2) 令和6年度定時評議員会 (3) 令和6年度第2回理事会(臨時) (4) 令和6年度第2回評議員会(臨時)	1. 理事会・評議員会の開催状況 (1) 令和6年度第1回理事会 令和6年6月10日開催 (2) 令和6年度第1回（定時）理事会（決議の省略評議員会） 令和6年6月26日開催 (3) 令和6年度第2回理事会(臨時) 令和6年10月3日開催 (4) 令和6年度第2回評議員会（臨時） 令和6年10月3日開催	1. 理事会・評議員会の内容 令和6年度 第1回理事会 令和6年6月10日 第1号議案 諸規程の変更について 第2号議案 令和5年度事業報告（案）について 第3号議案 令和5年度決算報告（案）について 第4号議案 監事監査報告について 第5号議案 理事長・園長兼務者の定期昇給について 第6号議案 役員等賠償責任保険について 第7号議案 評議員会の招集について 第8号議案 その他の案件について 令和6年度 第1回（定時）評議員会 令和6年6月26日 第1号議案 令和5年度事業報告（案）について 第2号議案 令和5年度決算報告（案）について 第3号議案 監事監査報告について 第4号議案 その他の案件について 令和6年度 第2回（臨時）理事会 令和6年10月3日 第1号議案 ハラスメント疑いに関する調査結果の報告、及び事後対応について 第2号議案 評議員会の開催について 第3号議案 その他の案件について 令和6年度 第2回（臨時）評議員会 令和6年10月3日 第1号議案 ハラスメント疑いに関する調査結果の報告、及び事後対応について 第2号議案 その他の案件について	

(5) 令和 6 年度第 3 回理事会 (6) 令和 6 年度第 4 回理事会 (7) 令和 6 年度第 3 回評議員会 2. 法人登記 (1) 資産総額の変更登記 3. 法人監査 令和 5 年度事業報告及び決算書に関する監査を、法人監事 2 名により実施予定 4. 届出関係 (1) 労働基準監督署 ①時間外労働の協定書 ②変形労働時間の協定書 ③規則・規程 (2) 東京都福祉保健局高齢社会対策部 介護職員処遇改善金に係わる届出 (3) 東京都 行政財産使用許可申請	(5) 令和 6 年度第 3 回理事会 令和 6 年 12 月 3 日開催 (6) 令和 6 年度第 4 回理事会 令和 7 年 3 月 19 日開催 (7) 令和 6 年度第 3 回評議員会（決議の省略） 決議があったとされた日 令和 7 年 3 月 30 日 2. 法人登記 (1) 資産総額の変更登記 3. 法人監査 令和 5 年度事業報告及び決算書に関する監査を、法人監事 2 名及び外部理事 1 名により実施予定。 4. 届出関係 (1) 労働基準監督署 ①時間外労働の協定書 ②変形労働時間の協定書 (2) 東京都福祉保健局高齢社会対策部 介護職員処遇改善交付金精算 (3) 東京都 行政財産使用許可書（るりたつみ学童保育クラブ敷地）	令和 6 年度 第 3 回理事会 令和 6 年 12 月 3 日 第 1 号議案 諸規程の変更について（給与規程） 第 2 号議案 令和 6 年度中間報告（案）について 第 3 号議案 令和 6 年度第一次補正予算（案）について 第 4 号議案 本体建物修繕に係る補助金及び借入金申請について 第 5 号議案 理事長・常務理事の職務執行報告について 第 6 号議案 理事長・園長兼務者の年末手当支給について 第 7 号議案 その他の案件について 令和 6 年度 第 4 回理事会 令和 7 年 3 月 19 日 第 1 号議案 諸規程の改正について（就業規則、育児休業規程） 第 2 号議案 令和 6 年度補正予算（案）について 第 3 号議案 令和 7 年度事業計画（案）について 第 4 号議案 令和 7 年度当初予算（案）について 第 5 号議案 葛飾区たつみ保育園の運営受託について 第 6 号議案 御蔵島村保育園の運営受託について 第 7 号議案 老人施設の給食業務委託業者について 第 8 号議案 評議員会の開催及び議題について 第 9 号議案 その他の案件について 令和 6 年度 第 3 回評議員会（決議の省略） 第 1 号議案 令和 7 年度事業計画（案）について 第 2 号議案 令和 7 年度当初予算（案）について 2. 法人登記 (1) 資産総額の変更登記 令和 6 年 3 月 31 日現在の資産の総額が、2,168,854,206 円となり、令和 6 年 6 月 27 日に変更登記を行った。 3. 法人監査 令和 5 年度事業報告及び決算書に関する監査を、法人監事 2 名及び外部理事 1 名により令和 6 年 6 月 7 日に実施した。 4. 届出関係 (1) 労働基準監督署 ①時間外労働の協定書 ②変形労働時間の協定書 (2) 東京都福祉保健局高齢社会対策部 介護職員処遇改善交付金精算 (3) 東京都 行政財産使用許可書（るりたつみ学童保育クラブ敷地）
--	--	---

項目	令和 6 年度 事業計画	令和 6 年度 事業実績	令和 6 年度 事業実績 具体的内容	達成度																																																																																
利用定員	●事業定員 <table><tr><td>年齢</td><td>0歳児</td><td>1歳児</td><td>2歳児</td><td>3歳児</td><td>4歳児以上</td></tr><tr><td>人数</td><td>9</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>24</td></tr></table> 合計 69人 <table><tr><td>年齢</td><td>0歳児</td><td>1歳児</td><td>2歳児</td><td>3歳児</td><td>4歳児</td><td>5歳児</td></tr><tr><td>人数</td><td>9</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr></table> 合計69人	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上	人数	9	12	12	12	24	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	9	12	12	12	12	12	●実績人員 ◎通常保育…月別在籍数 <table><tr><td>月</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>人数</td><td>60</td><td>61</td><td>61</td><td>63</td><td>66</td><td>67</td><td>67</td><td>67</td><td>67</td><td>67</td><td>67</td><td>67</td></tr></table> ○年度途中の入退園 入園 0歳児 5名 1歳児 1名 2歳児 1名 4歳児 1名 退園 0歳児 1名 1歳児 1名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	人数	60	61	61	63	66	67	67	67	67	67	67	67	●予算定数等 ◎延長保育登録実績 <table><tr><td>月別</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>人数</td><td>15</td><td>16</td><td>15</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td></tr><tr><td>月別</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>人数</td><td>19</td><td>20</td><td>20</td><td>19</td><td>19</td><td>19</td></tr></table> 合計 216 名	月別	4	5	6	7	8	9	人数	15	16	15	18	18	18	月別	10	11	12	1	2	3	人数	19	20	20	19	19	19	
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上																																																																															
人数	9	12	12	12	24																																																																															
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																																																														
人数	9	12	12	12	12	12																																																																														
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																								
人数	60	61	61	63	66	67	67	67	67	67	67	67																																																																								
月別	4	5	6	7	8	9																																																																														
人数	15	16	15	18	18	18																																																																														
月別	10	11	12	1	2	3																																																																														
人数	19	20	20	19	19	19																																																																														
職員配置	●予算人員 施設長 1名 監督職 1名 一般職 22名 非常勤職員 10名（内育児休業取得 1名） 合計 37 名	●実績人員 施設長 1名 監督職 1名 一般職 19名 非常勤職員 10名 令和 7 年 3 月時点 合計 29 名 令和 6 年度 3 月退職職員 合計 2 名 (正規保育士 1 名、非常勤用務員 1 名) ○年度途中の入退職 ○退職…11 月：正規保育士 1 名、非常勤保育士 1 名 12 月：正規保育士 2 名 ○異動… 4 月：正規保育士 1 名 学童保育クラブへ 6 月：正規保育士 1 名 学童保育クラブから帰任 8 月：正規保育士 1 名 たつみ保育園へ異動																																																																																		
処遇の特例事項	●感染症予防・拡大防止対策 ・マニュアルに基づいた対策を行う * 冬期のインフルエンザ、ノロウイルス感染症の感染予防策を重点的に行う。 * 新型コロナウイルスについて、行政や関係機関からの情報収集を行い、感染予防に努める。	●感染症の状況 4・5・6・7・11・12・1・3 月 溶連菌感染症 28 名 4・8・9・ 1 月 新型コロナウイルス感染症 6 名 7・8・9・10 月 手足口病 31 名／ 6・11 月 突発性発疹 2 名 6・7・2・ 3 月 ウイルス性胃腸炎 9 名 7・10・12 月 ヘルパンギーナ 7 名／ 3 月 咽頭結膜炎 1 名 10・11・12 月 伝染性紅斑 14 名／3 月 流行性耳下腺炎 1 名 8・12・1 月 インフルエンザ A 型 29 名 12 月 インフルエンザ B 型 1 名 10 月 マイコプラズマ肺炎 1 名 2 月 ヒトメタニューモウイルス 12 名 ●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし ●事故発生件数…受診を要する事故・怪我 59 件 内訳：挫滅創 7 件／擦過創 7 件／鼻腔内異物／挫傷 2 件／裂創 3 件／右前歯の離脱／前頭部挫創 2 件／前額部挫創／上唇小帯裂傷 4 件／左肘関節捻挫／擦過創 11 件／切創／歯牙打撲／外傷 7 件／右肘関節部挫傷／眼球打撲／眼瞼炎／右肘内障／歯の脱臼／眼の皮膚の切り傷／打撲／爪の離脱／細菌感染 ●保育雑誌出版社から取材の依頼を受けた際、対象児童保護者の承諾を得ず発行した。読者に写真が掲載されているページの差し替えを依頼し、回収を行ってきたが、令和 7 年 2 月に該当保護者より今後回収の必要なしの申し出あった。それまで保護者に対して発行していた週集計数レポートを終了した。 ※令和 8 年 3 月までは回収作業は継続する。	●感染症予防・拡大防止対策…マニュアルに基づいた対策を行った。 ●各感染症に感染症拡大の兆しがあった場合は、主任・看護師・リスクマネージャーで迅速に対応策を検討。職員へ周知後、感染症拡大防止に努めた。																																																																																	

項目	令和 6 年度 事業計画	令和 6 年度 事業実績	令和 6 年度 事業実績 具体的内容	達成度
重点目標	①保育環境の再考⇒展望 ○保育環境について課題を抽出し、考察を深める ・子供の育ちを支える保育環境（室内・園庭・裏庭）について職員間で探究し実現していく。 ・福祉とは？教育とは？という観点から日々の保育を振り返り、『暮らしの豊かさ』につなげ実践し、これからのうららの保育を展望する。 ○安心・安全な保育 ・子どもの尊厳・権利を守る視点から、安心・安全な保育とは？を職員間で共有し、考察していく。また、リスクマネージャーを中心に安全計画に基づいた研修・実践を行い、職員全体の危機管理への意識を高める。 ・保育現場で活用しやすいマニュアルに改訂し、安全保持に努める。 ・葛飾区から示される BCP（事業継続計画）を既存の BCP に連動し、再構築を行う。 ②事務業務の効率化やノンコンタクトタイムの安定的な取得 ・ICT システムの導入拡大に伴い、事務業務の効率化を目指す。 ・ノンコンタクトタイム及び、残業時間を減らす取り組みを再構築し、実施していく。 ③保育の組織力強化 ○職員階層の再編。保育課題の検討と実践 ・ワーキングチームそれぞれが、事業計画の重点項目と連動した保育課題を抽出し、スモールステップを踏みながら課題解決をしていく。 ○『チーム力』を高める ・保育の振り返り⇒共有を職員間で意識的に取り入れながら、対話を深める職員集団を目指す。 ・中堅・リーダー層職員が中心となり、新任・初任層とともにうららの根幹を考察し、保育の充実を図りながら組織力向上に努める。 ○保育ファシリテーター養成講座を履修したファシリテーターが中心となって職員会議や園内研修の企画、運営を引き続き行い、職員が主体的に参画できる場や会議の活性化を図る。また中堅層も、会議の運営・企画を学びながら、後半期は企画・運営にも携わっていく。	① 保育環境の再考⇒展望 ○保育環境について課題を抽出し、考察を深める ・園庭環境構成について、職員が様々な研修に参加し、学びをすぐに実践に繋げたことで行事の参画の仕方や土づくり、野菜作りに対する職員の意識に変化が見られた。 ・毎月の職員会議冒頭 30 分を使い『環境について』職員と継続的に話し合いを進め、「対話すること」「自分の言葉で話すこと」を意識していった。 ○安心・安全な保育 ・避難訓練や水害訓練、引き渡し訓練などのやり方を見直し、より実践に合った方法を見出し再確認した。 ・園内の安全マップを作成し、ヒヤリハットなど園内の危険箇所について可視化すべく準備を進めた。 ② 事務業務の効率化やノンコンタクトタイムの安定的な取得 ・全クラスの連絡ノートを電子化へ移行する。職員も入力する手軽さもあり、時間を見ながら入力することで他業務に時間を費やし、残業時間の軽減にもつながった。 ・保育士各々に園からスマートフォンを支給し、更なる業務の効率化を図るために準備を進めたが、使用開始までには至らなかった。 ③ 保育の組織力強化 ○職員階層の再編。保育課題の検討と実践 ・ワーキングチームを編成。それぞれ『室内環境』『園庭環境』『安全対策』の課題を持ち、課題抽出や問題解決に向けてミーティングを重ねていった。また毎月の職員会議時に“うららの環境を考える”をテーマに継続的に園内研修を実施し保育の深く細やかな課題を抽出した。 ○『チーム力』を高める ・園行事『うららな日』の開催方法について、中堅層職員も交えてミーティングを進めることで行事の内容について新たな視点から生み出されるアイデアがでていた。 ・リーダー層 1 名が「園内研修コーディネーター講座」を受講。主任・副主任と共に企画を行った。	① 保育環境の再考⇒展望 ・わかな保育園主催『菌ちゃんや野菜づくり講座』に参加し、土づくりについて学んだ。その後、参加した職員自ら裏庭にコンポストをつくり、土壌の実験をしながら園芸や野菜の栽培をするなど職員の園庭に対する意識が高まっていた。 ・毎月の職員会議の中で、『環境について』継続的に話を進める。モノの扱い方、現状のうららについて思うことを話す等、階層別チームでのワークを中心に行ったことで、いつも感じていることや疑問など幅広く意見が出た。 ・園内の危険箇所を可視化できるように特大サイズの園舎内平面図を用意し、ヒヤリ安全マップの作成・掲示を行ったが、活用までには至らなかった。 ・避難訓練、水害訓練、三施設合同避難訓練、引き渡し訓練など、実際の災害を想定した動きをイメージしながら避難経路や保護者との連絡方法を見直していった。そこでの気づきも多く、より明確な課題が浮かび上がった。 ② 事務業務の効率化やノンコンタクトタイムの安定的な取得 ・今年度より、電子連絡帳の使用を開始する。質問事項などその都度職員や保護者と共有していくことで、混乱なく進められた。日常的に使っていく中で、職員による連絡ノート未送信ということが何度か起きたため、送信の有無を再度確認した。 ・職員会議にて個人情報の取り扱いや、携帯する際の注意点などを職員と共有したが、実際に使用するところまでには至らなかった。 ・スマートエデュケーション『おうちえん』のドキュメンテーションの説明を受けた。実際に体感することで、イメージの共有や書類精査へ繋がった。 ③ 保育の組織力強化 ・各チームが課題に向けて話し合いを進めるが、行事の担当も重なり、十分な話し合いの時間を持つことができなかった。その中でも、各チームが課題に対して職員との話の中で自然と対話が生まれ、意識の共有に繋がっていた。 ・園行事『うららな日』の内容について、リーダー層・中堅層を交えて「うららな日 経営本部」を発足した。内容や時間帯、各ブースの計画、各種準備を他職員と協同しながら進めていった。それにより、今までになかった意見や視点が生まれるなど、話し合いが活性化していった。職員も今まで以上に準備や運営に関わるなど、積極的に進めていた。 ・主任・副主任・リーダー層と共に会議などの企画運営を行い、職員と「対話すること」を意識しながら進めていった。職員会議の内容をグループワーク中心に進め、大半の時間を職員同士が話し合うことにしたことで「自分のことを話す」という経験につながっていた。	達成度 90% ○『環境について』は引き続き話し合いを進めていく。また、話した内容や学んだことを実際に進めるなどスモールステップでも実践に繋げていく。 達成度 75% ○保育書類の見直しを進めるとともに使用ツールを園内用の個人スマホに移行して更なる事務業務の効率化を図る。 達成度 80% ○職員階層の再編とともに、各チームの課題に対して着実な話し合いを進めていく。また、リーダー層と共に中堅層職員も巻き込んで話し合い、うららのこれからを共に考えていく。 ○職員会議の企画・運営をリーダー層が中心となって進めていけるように主任・副主任はサポートしていく。
その他	●地域子育て支援事業 令和 5 年度の開催回数・実績に基づき、各事業の充実を図る ○子育てひろばの感染防止対策を踏まえた今後の開催方法の検討と実践。 ○利用者のニーズに合わせた講座の開催。 ○子育てひろばの更なる活性化を目指す。 ○ひろば事業における SNS の本格的な実施。 ●葛飾区指導検査 実施予定 ●東京都福祉サービス第三者評価 実施予定	●地域子育て支援事業 令和 6 年度 利用登録家庭数 200 家庭（内新規登録家庭 26 家庭） 今年度より一般型へ移行。定期的な利用者がいる一方で、継続的な利用人数は少なくなっている。行事やイベントの際には、多くの参加者がいた。 ●葛飾区未就園児の定期的な預かり事業 実施 ●葛飾区指導検査 1 月実施 ●東京都福祉サービス第三者評価（web アンケート） 3 月実施 株式会社 学研データサービス	●計画通り実施 ●葛飾区未就園児の定期的な預かり事業 2 月・3 月実施（利用人数：2 名 利用合計日数：4 日） ●葛飾区指導検査 1 月実施 指摘事項なし ●東京都福祉サービス第三者評価 受審 2 月実施（回収率：35.8% 満足度：大変満足・満足合わせて 94.7%） ○利用者アンケート（web アンケート） 1 月実施 改善計画（案）を作成し、保護者周知する。	○「からこる」の利用者ニーズに合わせた子育て講座の開催とともに、園独自の強みを見出していく。 ○他施設と連携を図り、情報交換を行いながら子育てひろばの更なる活性化と定着化を目指す。 ○ひろば事業における SNS の発信を軌道にのせ、定期的な発信を行う。

項目	令和 6 年度 事業計画	令和 6 年度 事業実績	事業実績 具体的内容	達成度																																																																																																														
利用定員	●事業定員 ◎通常保育 0 歳児 9 名・1 歳児 15 名・2 歳児 18 名 3 歳児 24 名・4 歳児 24 名・5 歳児 24 名 合計 114 名 ◎特別保育 一時：10 名・病後児：4 名・休日 10 名 ●予算定数 同上	●実績人員 ◎通常保育・・・月別在籍数 <table><tr><td>月</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>人数</td><td>103</td><td>102</td><td>102</td><td>102</td><td>101</td><td>101</td><td>101</td><td>100</td><td>102</td><td>103</td><td>103</td><td>103</td></tr></table> ○年度途中の入退園 入園 0 歳児 3 名 1 歳児 1 名 2 歳児 1 名 退園 0 歳児 2 名 1 歳児 1 名 4 歳児 1 名 5 歳児 1 名 ◎特別保育・・・月別利用児数（人） <table><tr><td>月</td><td>4 月</td><td>5 月</td><td>6 月</td><td>7 月</td><td>8 月</td><td>9 月</td><td>10 月</td><td>11 月</td><td>12 月</td><td>1 月</td><td>2 月</td><td>3 月</td><td>計</td></tr><tr><td>一時</td><td>39</td><td>37</td><td>34</td><td>35</td><td>39</td><td>33</td><td>36</td><td>39</td><td>42</td><td>39</td><td>37</td><td>36</td><td>446</td></tr><tr><td>病後児</td><td>2</td><td>6</td><td>14</td><td>13</td><td>8</td><td>5</td><td>12</td><td>5</td><td>9</td><td>9</td><td>7</td><td>7</td><td>97</td></tr><tr><td>休日</td><td>22</td><td>33</td><td>20</td><td>24</td><td>17</td><td>33</td><td>21</td><td>35</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>319</td></tr></table>	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	人数	103	102	102	102	101	101	101	100	102	103	103	103	月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	一時	39	37	34	35	39	33	36	39	42	39	37	36	446	病後児	2	6	14	13	8	5	12	5	9	9	7	7	97	休日	22	33	20	24	17	33	21	35	27	28	29	30	319	◎延長保育登録実績 <table><tr><td>月別</td><td>4 月</td><td>5 月</td><td>6 月</td><td>7 月</td><td>8 月</td><td>9 月</td></tr><tr><td>人数</td><td>28</td><td>31</td><td>33</td><td>32</td><td>36</td><td>35</td></tr><tr><td>月別</td><td>10 月</td><td>11 月</td><td>12 月</td><td>1 月</td><td>2 月</td><td>3 月</td></tr><tr><td>人数</td><td>34</td><td>35</td><td>33</td><td>35</td><td>34</td><td>33</td></tr></table> ◎特別保育 ○新規登録数 一時保育 ：58 名 病後児保育：57 名 休日保育 ：12 名	月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	人数	28	31	33	32	36	35	月別	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	人数	34	35	33	35	34	33	
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																																																						
人数	103	102	102	102	101	101	101	100	102	103	103	103																																																																																																						
月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計																																																																																																					
一時	39	37	34	35	39	33	36	39	42	39	37	36	446																																																																																																					
病後児	2	6	14	13	8	5	12	5	9	9	7	7	97																																																																																																					
休日	22	33	20	24	17	33	21	35	27	28	29	30	319																																																																																																					
月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月																																																																																																												
人数	28	31	33	32	36	35																																																																																																												
月別	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月																																																																																																												
人数	34	35	33	35	34	33																																																																																																												
職員配置	●予定人員 施設長 1 名 管理職（副園長）1 名 （事務局長・ひのか保育園副園長兼務） 監督職 1 名 一般職 22 名 （内 2 名令和 7 年 3 月まで産前産後休暇・育児休業所得予定） （内 1 名令和 7 年 3 月まで育児休業所得予定） 非常勤職員 23 名 （内 1 名令和 7 年 3 月まで産前産後休暇・育児休業所得予定） 合計 48 名	●実績人員 施設長 1 名 管理職 1 名 監督職 1 名 一般職 22 名 （内 3 名 令和 7 年 3 月末まで育児休業取得） 非常勤職員 23 名 （内 1 名 令和 7 年 3 月末まで育児休業取得） 合計 48 名 令和 6 年度 3 月退職職員 合計 5 名（内 正規保育士 3 名、非常勤保育士 1 名、非常勤用務員 1 名） ○年度途中の入退職・異動など 入職…6 月：正規看護師 1 名 7 月：非常勤用務員 1 名 10 月：非常勤用務員 1 名 3 月：非常勤用務員 1 名 退職…5 月：非常勤用務員 1 名 8 月：保育補助 1 名 9 月：非常勤用務員 1 名、保育補助 1 名 異動…8 月：うらら保育園より 正規保育士 1 名 産前産後休暇・育児休業…5 月：正規職員 2 名 7 月：非常勤保育士 1 名 8 月：正規保育士 1 名 産前産後休暇…2 月：正規保育士 1 名																																																																																																																
処遇の特例事項	●感染症拡大防止の強化 ●安全管理体制の強化	●感染症の状況（昨年度の） 4・11・1・2 月 突発性発疹 5 名／4・6・1・3 月 新型コロナウイルス 5 名／4 月 流行性耳下腺炎 1 名 4・5・6・7 月 溶連菌感染症 6 名／5・1・3 月 感染性胃腸炎 3 名／6・10 月 突発性発疹 2 名 6 月 インフルエンザ B 型 1 名／7・8・9・10 月 手足口病 24 名／7 月 ヘルパンギーナ 2 名 7 月 ウイルス性胃腸炎 1 名／8 月 RS ウイルス 1 名／9・12 月 マイコプラズマ肺炎 3 名 11・12・1 月 伝染性紅斑 25 名／12・1 月 流行性角結膜炎 2 名 12・1 月 インフルエンザ A 型 12 名 1 月 プール熱 1 名 ●事故発生件数…受診を要する怪我 54 件 擦過創 4 件／結膜炎／歯の脱臼 2 件／顔面擦過創 3 件／打撲／擦過傷 6 件／左足関節挫傷／切創／歯牙打撲 顔面切創 3 件／打撲による皮下出血／口唇裂傷・歯の打撲／引っ掻き傷 2 件／爪囲炎／歯根破折疑い 下左右中切歯歯牙脱臼・下顎外傷／頭部打撲傷 2 件／後頭部打撲／擦過創・眼瞼炎左頬部挫創／頭部打撲 左足関節挫傷、左足関節捻挫／左頬部擦過創 2 件／鼻骨骨折／小帯裂傷／左手関節側副靱帯断裂／口唇裂傷 顔面皮膚擦過創／左足関節外果剥離骨折／歯牙破折／頭部打撲・顔面裂創／虫刺され／第 3・4・5 指熱傷 皮膚欠損／外傷 2 件／下顎部挫創／誤飲疑い／脳震盪疑い ●苦情解決…苦情解決委員が招集される苦情はなし	○感染拡大防止策として ・インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症予防や感染拡大防止策を徹底して行った。 ○事故・怪我処置対応として ・事故報告書をもとに、原因を振り返り再発防止策を講じた。																																																																																																															

項目	令和 6 年度 事業計画	令和 6 年度 事業実績	令和 6 年度 事業実績 具体的内容	達成度
重点項目	①たつみの園庭環境を考える ○“児童にとっての園庭とは？”を職員が書籍や様々な情報を参考に学び、児童の興味関心が広がる、心地良く過ごせる園庭を考察する	① たつみの園庭環境を考える ○“児童にとっての園庭とは？”を繰り返し考察し、園庭環境の改善を目指した ・園庭環境の課題を抽出しながら、『たつみの園庭像』を考察し実践に繋げた。	①たつみの園庭環境を考える ○“児童にとっての園庭とは？”を繰り返し考察し、園庭環境の改善を目指した ・職員会議で『たつみの園庭像』について話し合った。児童の姿から整備していきたい場所や興味関心が広がる空間づくりをイメージし伝え合い、グラウンドカバーや花を植える等、すぐにできることを実践し、園庭環境を改善した。 ・保護者と職員で作業をする『たつみワーク』にて、テラスのデッキや園庭ベンチ等のメンテナンス、花壇・木製のパーテーションづくり、保育室扉の色塗りを行ったことで、園内の雰囲気にながみが生まれた。作業中、児童の姿や今後『たつみワーク』で実施したい内容について会話し、更なる環境改善に繋げた。	達成率 85% ○『たつみの園庭像』を具現化して次年度の計画を立てる。
	②安心・安全な暮らし ○職員がわかりやすく閲覧できるマニュアルを目指し、更なる園内マニュアルの整理や改訂等を行う ○災害時に備え、備蓄倉庫内の整理や備蓄品の選定を行う	② 安心・安全な暮らし ○マニュアルの整理や改訂をすすめ、園全体の安全管理を整えた ・既存のマニュアルを見直し、職員がわかりやすく閲覧できるマニュアルづくりや整理をすすめた。 ○災害時に必要な備蓄品の購入、保護者への発信を増やし災害の備えを行った ・備蓄食の試食を行い、新たに必要な物品を購入し、災害時の備えの充実を図った。	②安心・安全な暮らし ○マニュアルの整理や改訂をすすめ、園全体の安全管理を整えた ・プレスチェックマニュアルの見直しや新たな SIDS のマニュアル等、どの職員が見てもわかるマニュアルづくりを行い会議にて共有したことで、職員の危機管理意識が向上した。 ○災害時に必要な備蓄品の購入、保護者への発信を増やし災害の備えを行った ・献立会議にて備蓄食の試食を行い、児童が食べやすい備蓄食を選定、また、災害時に必要な物品を見直し購入した。 ・行事で保護者に備蓄食の提供を行った。「美味しい」という声が多く、園の災害時の備えを保護者に周知出来た。	達成率 95% ○引き続き誰が見てもわかりやすい園内マニュアル改訂をすすめる。 ○備蓄品の整理・選定を行い災害時の対応に備える。
	○安心で安全な暮らしを保つため、安全対策委員会の開催や児童の心模様に着目した園内研修を実施する	○危機管理意識向上に繋がる訓練や園内研修を実施した ・安全に関する訓練を計画的に実施し、安心・安全な保育を構築した。	○危機管理意識向上に繋がる訓練や園内研修を実施した ・葛飾警察署防犯係による防犯訓練や上平井消防署隊員による溺水事故を想定した心肺蘇生の講習会に加え、安全チームによるアクションカードの使用方法について学ぶ園内研修を実施したことで職員の全体的な危機管理意識が高まった。 ・これまで室内で行っていた『非常災害時引き取り・引き渡し訓練』を園庭にて実施した。62 家庭が参加し、児童の姿や職員の動き等、実際の災害時を想定した際の課題が見え、今後の訓練に繋がる時間となった。	○安全に関する園内研修の充実を図る。
	③保育の質の向上 ○職員一人ひとりが自園の課題を踏まえ、目的意識を持ち学びを深める。また学びを他職員へ伝えることでお互いを高め合い、課題解決に繋げてゆく ○保護者とともに児童の育ちを見守れるよう、様々な場面での児童の姿を見える化し、発信してゆく方法を学び実践してゆく	③ 保育の質の向上 ○研修報告会を定期的実施し、保育の質の向上を図った ・自身の学びを他職員へ伝える研修報告会を実施し、様々な知識の向上を図った ○保護者への児童の育ちの発信方法について学び、実践と考察を繰り返した ・お便りや連絡ノート、活動メモ等『園内の記録物』について課題を抽出し、内容の充実や事務の効率化を図った。	③保育の質の向上 ○研修報告会を定期的実施し、保育の質の向上を図った ・研修で学んだ内容を他の職員に伝えることで、安全や食、保護者支援、玩具に関することなど、一人ひとりの学びとなり、職員の質が向上した。 ○保護者への児童の育ちの発信方法について学び、実践と考察を繰り返した ・保護者へ発信する書類について現状や課題を職員間で話し合い、お便りの記載内容を変更した。作成する中での改善点や改善策を会議の議題とし、課題解決に繋げた。また、廊下にクラス担任が作成したウェブマップを掲示し、園での暮らしや児童の育ちを発信した。 ・事務の効率化を目指し現在の ICT システム変更を検討し、業者選定を行った。園が求めるサービスを提供している業者に移行し、業務軽減へ繋げた。	達成度 95% ○各会議の内容を更に充実させ、職員一人ひとりの保育の質の向上を図る。 ○児童の育ちを発信する方法を学び実践してゆく。
その他	●葛飾区指導検査の受審 ●葛飾区主催利用者アンケート実施 ●東京都福祉サービス第三者評価 実施予定なし	●葛飾区指導検査の受審 1 月に実施 ●葛飾区主催利用者アンケート実施 12 月に実施 (回答率 65%・満足度 100%)	●計画通り実施 ・指導検査 指摘事項特になし。 ・アンケートについての改善案を書面にて 3 月に配布。	

項目	令和6年度 事業計画	令和6年度 事業実績	事業実績 具体的内容	達成度																																																																																		
利用定員	●事業定員 ◎通常保育 0歳児15名・1歳児20名・2歳児24名 3歳児24名・4歳児24名・5歳児24名 合計131名 ◎特別保育 一時：10名 ●予算定数 同上	●実績人員 ◎通常保育・・・月別在籍数 <table><tr><td>月</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>人数</td><td>123</td><td>129</td><td>129</td><td>127</td><td>127</td><td>127</td><td>127</td><td>126</td><td>128</td><td>128</td><td>128</td><td>128</td></tr></table> ○年度途中の入退園 入園 0歳児 4名、1歳児 0名、2歳児 2名、3歳児 2名、4歳児 4名、5歳児 0名 退園 0歳児 2名、1歳児 0名、2歳児 1名、3歳児 2名、4歳児 2名、5歳児 0名 ◎特別保育・・・月別利用児数（人） <table><tr><td>月</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td><td>計</td></tr><tr><td>一時</td><td>39</td><td>14</td><td>19</td><td>30</td><td>28</td><td>16</td><td>27</td><td>34</td><td>44</td><td>41</td><td>54</td><td>66</td><td>412</td></tr></table>	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	人数	123	129	129	127	127	127	127	126	128	128	128	128	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	一時	39	14	19	30	28	16	27	34	44	41	54	66	412	◎延長保育登録実績 <table><tr><td>月別</td><td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td></tr><tr><td>人数</td><td>22</td><td>25</td><td>24</td><td>22</td><td>24</td><td>22</td></tr><tr><td>月別</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td></tr><tr><td>人数</td><td>22</td><td>23</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td>30</td></tr></table> ◎特別保育 ○新規登録数 一時保育：58名	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	人数	22	25	24	22	24	22	月別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	人数	22	23	29	30	31	30	
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																										
人数	123	129	129	127	127	127	127	126	128	128	128	128																																																																										
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計																																																																									
一時	39	14	19	30	28	16	27	34	44	41	54	66	412																																																																									
月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																																
人数	22	25	24	22	24	22																																																																																
月別	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																
人数	22	23	29	30	31	30																																																																																
職員配置	●予定人員 施設長1名 管理職1名（副園長） （事務局長、たつみ保育園副園長兼務） 監督職2名 一般職30名（内2名育児休業取得中） 非常勤職員20名（内1名育児休業取得中） 合計54名	●実績人員 施設長 1名 管理職 1名 監督職 2名 一般職 30名（内2名 育児休業取得） 非常勤職員20名（内1名 育児休業取得、内1名 令和7年3月末まで休職） 令和6年度3月退職職員 合計3名（正規保育士1名、非常勤保育士1名、保育補助1名） ○年度途中の入退職・異動など 退職：9月 非常勤用務員 1名																																																																																				
処遇の特例事項	●感染症拡大防止の強化 ●安全管理体制の強化	●感染症の状況 4・5・6・7・8・9・10・11・3月 溶連菌感染症 22名 / 4月 ヘルパンギーナ 1名 4・5・6・8・10・12月 突発性発疹 11名 / 6月 アデノウイルス感染症 2名 4・5・6・8・9・11・12・1・3月 感染性胃腸炎 39名 4・7・8・9・10・11・12月 手足口病 65名 / 6月 咽頭結膜熱 1名 7・8月 RSウイルス感染症 9名 / 8・9・12・2月 流行性角結膜炎 5名 8・9・1・2月 新型コロナウイルス感染症 11名 / 9月 マイコプラズマ肺炎 1名 12・1月 インフルエンザ 9名 / 12・2月 伝染性紅斑 2名 ●事故発生件数…受診を要する怪我 99件 擦過傷・64件 / 上唇小帯裂傷・9件 / 口腔内挫傷・3件 / 歯牙打撲・7件 眼球挫傷・2件 / 鼻腔内異物挿入・2件 / 歯牙打撲疑い・3件 / 眼球挫傷の疑い 爪甲剥離 / 足底裂傷 / 頭部打撲と擦過傷 / 不完全骨折 / 外耳道異物挿入 顔面打撲 / 手指打撲 / 咬傷 ●苦情解決…苦情解決委員が招集される苦情はなし	○感染拡大防止策として ・園内や近隣の感染状況等を鑑み、都度感染症予防対策を講じた。 ○安全管理体制の強化 ・年度末に事故の統計を基に、各クラスの振り返りを行った。怪我・事故防止の為に、見守りポイントや意識の共有を図った。																																																																																			

項目	令和 6 年度 事業計画	令和 6 年度 事業実績	令和 6 年度 事業実績 具体的内容	達成度
重点項目	① 組織力の向上 ○職員育成の強化 ・職員一人ひとりの特性や現状に合わせ、個別の育成の強化を図る。 ・目標を設定し、チームで協働しながらものごとをすすめる経験を重ね、チーム力の向上に繋げる。 ○安全な保育環境の構築に向けた取り組みを強化 ・安全計画を基に安全の確保に向けた取り組みを実施。園全体の安全力（対処力・予防力）及び、一人ひとりの安全・危機管理意識の向上を目指す。 ② ICT システムの見直し・活用 ○現状の課題を基に、業務の効率化や情報発信・共有の充実を図る ・課題に則したシステムを導入することで、事務業務の軽減や保育の質の向上に繋げる。 ・子どもの育ちを捉える視点を育み、保育の記録の充実を図る。 ・園と保護者の情報共有のツールとして、利便性や内容の充実に向け、ICT の活用を再検討する。 ③ 地域交流スペースの活用 ○地域住民の居場所作りとして、施設のスペースを活かす ・学童保育に在籍していない就学児童を対象に地域交流スペースを開放する。 ・地域のニーズを調査し、多世代に向けた活用方法を見出していく。	① 組織力の向上 ○職員育成の強化 ・職員一人ひとりの現状を踏まえ、外部研修等の選出を行った。 ・保育の質やチーム力の向上を目指し、現在の課題や話したい内容（声掛け・関わり、記録、園庭環境、室内環境）を設定し、4つのワーキングチームを編成。チームで目標を定め、学びを深めていった。 ・リーダー層と主任保育士で園の課題を共有し、職員会議の企画・運営を行った。 ○安全な保育環境の構築に向けた取り組みを強化 ・安全対策委員会のメンバーを再編成した。情報共有や人数把握についての課題を抽出し、改善に向けて取り組んだ。 ・個人情報の取り扱いについて、園での管理方法を明確化した。 ② ICT システムの見直し・活用 ○現状の課題を基に、業務の効率化や情報発信・共有の充実を図る ・新たな ICT システムの業者を選定し、連絡ノートアプリを導入。緊急メールやお便り等もアプリでの配信へ移行した。また、保育に関わる書類も移行し、使用を開始した。 ・ワーキングチーム（記録）のリーダーと主任保育士で、保育の記録の課題について共有し方向性を相談しながら進めた。 ③ 地域交流スペースの活用 ○地域住民の居場所作りとして、施設のスペースを活かす ・就学児童の放課後の居場所作りとして、1 月にプレオープンを実施。2 月より本格実施を開始した。 ・『公益財団法人 東京都保健福祉財団主催の子供が輝く東京・応援事業』に応募。助成金申請に必要な書類を、随時整え提出した。 ・多世代に向けた活用方法については、就学児童の放課後の居場所の安定を図り、進めていくこととした。	① 組織力の向上 ○職員育成の強化 ・個人研修計画シートを基に、学びの機会を設けた。各自、研修内容を実践に繋げたり、職員会議やミーティング内で学びを共有した。 ・チームリーダーと主任保育士で定期的に進捗状況を確認し、チームでの活動の困難さや悩ましさを共有しながら進めた。下期、職員会議にて、各チームの活動内容の報告及びグループワークを実施。他職員の保育観や思いに触れるきっかけとなった。 ・職員会議は、職員同士の対話を意識した内容を企画し、話し合いの活性化に繋がった。企画会議を重ねるごとに、リーダー層が主体的に取り組む姿が増えていった。 ○安全な保育環境の構築に向けた取り組みを強化 ・情報共有の手引書を作成した。読み合わせ等で周知するだけでは、個人の認識に差がでやすい為、職員周知の方法を安全対策委員会のメンバーで検討した。 ・個人情報の取り扱いに関して、課題となる事案が発生した。個人情報の書類・端末等の取り扱いや保管方法について、現状の見直し及びさらなる強化に努めた。 ② ICT システムの見直し・活用 ○現状の課題を基に、業務の効率化や情報発信・共有の充実を図る。 ・運用開始後、保護者や職員の声を基に振り返りを行い、ノートの項目の精査や保護者連絡のメッセージ機能追加等、改善に繋げた。園からのメールを確認する保護者も増えた。保育に関わる書類（月案・発達記録・事故発生報告書等）をアプリに移行し、適宜、振り返りを行った。 ・チーム内で記録の意図を確認した後、日誌について職員アンケートを実施し、現状把握を行った。職員間で記録のポイントを共有し、個々の日誌を読みあい、感じた事や思いを伝えあった。 ③ 地域交流スペースの活用 ○地域住民の居場所作りとして、施設のスペースを活かす ・プレオープン及び本格実施に向け、詳細をお知らせするポスターを近隣施設（法人内学童保育クラブ、嘱託医、近隣スーパー、近隣複合施設）に掲示。地域交流スペースの総称を【紡（つむ）】就学児童の放課後の居場所を【かしの木】と命名した。 ・登録児童数 4 名、うち 3 名が継続的に利用。学習や読書、制作等児童同士コミュニケーションをとりながら、思い思いに過ごす姿が見られた。また、利用児童及び保護者の声を拾いながら書籍や教材の充実等、環境の改善を図った。水分補給時に使用するコップについては、使い捨てではなく、ご家庭で眠っている湯呑があればご寄付頂きたい旨を在園家庭に呼び掛け、多数のご家庭よりご協力いただいた。 ・『公益財団法人 東京都保健福祉財団主催の子供が輝く東京・応援事業』の令和 6 年度・7 年度の助成対象事業として選定された。また、令和 6 年度助成金実績報告書を作成、提出した。	達成率 70% ・ワーキングチームは、実践に繋げることに課題があった。話すだけに終わらない工夫を行い、継続的に取り組んでいく。 ・リーダー層との職員会議の企画・運営は継続。課題解決に取り組む中で、リーダー層としての意識向上に繋げる。 ・園全体で危機管理意識を高める継続的な学びの機会を設ける。 達成率 85% ・継続的に、書類の見直しを行い、事務業務軽減を図る。 ・継続的に、子どもの姿を捉える視点の学びを深め、実践に繋がる記録の充実や保育の質の向上に繋げる。 達成率 85% ・事業の定着を図り、利用児童の様子を把握しながら、必要に応じて改善を図る。 ・令和 7 年度の助成金申請及び実績報告等、必要に応じて作成及び提出する。
その他	○東京都福祉サービス第三者評価機関の利用者アンケートの実施 ○子育てひろば事業(一般型)	●東京都福祉サービス第三者評価機関の利用者アンケートの実施 ●葛飾区指導検査の実施 ●子育てひろば事業(一般型) 平日 10 時～15 時 開放 催し物・木の芽の会（離乳食の試食相談会）・こぐまの会（地域ボランティアによる絵本の読み聞かせ）・手作り玩具の会・園庭開放 等	○12 月 東京都福祉サービス第三者評価機関の利用者アンケートの実施（回収率 33.3%） 大変満足＋満足＝100% 要望、意見に対する回答を作成し、3 月に文書配信した。 ○11 月 葛飾区指導検査の実施 指摘事項なし ○子育てひろば事業(一般型) ・上期は、新年度の入園に伴い利用者数が一時的に減少傾向にあったが、新規利用者も増え、継続利用に繋がっていた。	

項目	令和6年度 事業計画	令和6年度 事業実績	事業実績 具体的内容	達成度																																								
利用定員	●計画人員 <table><tr><td>年齢</td><td>0歳児</td><td>1歳児</td><td>2歳児</td><td>3歳児</td><td>4歳児</td><td>5歳児</td></tr><tr><td>人数</td><td>0名</td><td>0名</td><td>3名</td><td>3名</td><td>2名</td><td>4名</td></tr></table> 合計12名 *2歳児については、5月2日から誕生月に順次入園予定	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	0名	0名	3名	3名	2名	4名	●実績人員 ◎通常保育・・・月別在籍数 <table><tr><td>月</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>人数</td><td>8</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>11</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr></table>	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	人数	8	9	9	9	9	10	11	11	12	12	12	12		
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																						
人数	0名	0名	3名	3名	2名	4名																																						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																
人数	8	9	9	9	9	10	11	11	12	12	12	12																																
職員配置	●予算人員 運営受託管理者（保育士）1名 一般職 1名（保育士） 非常勤職員 3名（保育士資格保有者3名） 非常勤子育て支援員1名 合計6名	●実績人員 運営受託管理者1名 一般職1名 非常勤職員4名 合計6名 ○年度途中の入退職・異動など なし																																										
処遇の特例事項	●感染症拡大防止の強化 ●安全管理体制の強化	●感染症の状況 新型コロナウイルス感染症の感染状況 4歳児…1名（9月13日～9月18日） 3歳児…1名（9月14日～9月20日） ●事故発生件数…受診を要する怪我2件 肘内障 5月24日園受診 火傷 6月19日受診なし 打撲 12月16日園受診 ●苦情解決…苦情解決が招集される苦情はなし																																										

項目	令和6年度 事業計画	令和6年度 事業実績	令和6年度 事業実績 具体的内容	達成度
重点目標	①保育環境を考える ○子供達の“やりたい”想いが実現する場所 ・整理整頓がしやすく、手に取りたい、やってみたくなるような環境作り ・子供達の姿から、今の発達段階を理解し、子供達同士のやり取り、遊びをサポートし、安心して過ごせる場所 ○安全な保育環境 ・危険な場所、子供達の遊び方、育ち、出来事、保育を通して感じたことなど、職員間で周知できる時間を作る ○SDGs 将来島に戻りたいと思えるような、地域に愛着と誇りを持つ子を育てる ・山や海、人、文化に触れるだけではなく、“知りたい”と思えるような伝え方を考えていく ②行事の進め方 ○対話を大切にする ・考えや、アイデアを自由に発言し、子供達で園を作っていることが実感できる場所 ③保育園拠点の子育て ○子どもの人数の減少が見えている中で、今後の保育園の在り方を変えていく必要があると考える。そのための相談を始めていく。 ・保育時間の見直し、放課後広場、未就園児の園舎利用など	① 保育環境を考える ○子供達の“やりたい”想いを実現する場所 ・子供達と保育環境を整備した。 ・発達段階から提案する遊び、活動内容を考えた。 ○安全な保育環境 ・月一のミーティング時間と共に、毎日の情報交換時間が定着した。 ○SDGs 将来島に戻りたいと思えるような、地域に愛着と誇りを持つ子を育てる ・地域に出かけ、関わりを持つと共に、行事へ参加した。 ② 行事の進め方 ○対話を大切にする保育 ・その日の出来事を一つテーマにしたり、行事の内容についてどうか、子供達の考えを聞いた。また、話し合った内容を日誌と一緒に貼り出した。 開催行事 5月17日（金）親子遠足 7月12日13日（金・土）お泊り保育 8月4日（日）例大祭参加 9月29日（日）敬老祝賀会出演 10月5日（土）運動会 12月14日（金）おたのしみ会 12月20日（金）もちつきの会 1月31日（金）お別れ遠足 3月14（金）卒園式 ③ 保育園拠点の子育て ・未就園児の過程に声を掛け、園庭や園舎の玩具を利用してもらった。 ・放課後保育、保育時間の見直しについては進展なし。	① 保育環境を考える ○子供達の“やりたい”想いを実現する場所 ・道具のしまう場所、しまい方、使い方を子供達と考え、整理整頓した。今まで使っていなかった物、大人がいないと取り出せなかった道具等が、取り出しやすくなり、遊びの幅が広がった。 ○安全な保育環境 ・配慮の方法を大人間で共通にすることで、今必要と思われる声掛けや、遊びが提供でき、子供達の成長に繋がった。 - また、必要な物と共に、保育環境にも目を向けられる機会となった。安全チェック表を作り、必要な処置をすることができるようになった。 ○SDGs 将来島に戻りたいと思えるような、地域に愛着と誇りを持つ子を育てる ・行事への参加だけではなく、準備や片付けにも係ることで、地域への愛着を持った。また、うらら保育園との交流の中で、御蔵島村を紹介したことにより、地域への学びが深まった。 ② 行事の進め方 ○対話を大切にする保育 ・“おはなみ”“カレーライス”“黒曜石”“子供の日”“運動会”“ハロウィン”“焼き芋”“おたのしみ会”“お正月”“霜柱”“節分”“御蔵調べ（うらら保育園からの質問へのお返事）”“お店屋さんごっこ”“卒園式”“保育園で危ない場所”等、テーマについて対話の時間を作り、子供達の考え、アイデアをまとめた。行事については、対話の過程が分かるよう、写真付きの壁新聞を貼り出した。 ③ 保育園拠点の子育て ・未就園児（2歳児）2名の利用があった。月の利用は10日前後。30分から1時間であった。 ・放課後保育や、保育時間の延長をするに辺り、職員1名確保が必要という内容までの話を役場職員と行った。	① 保育環境を考える 達成率80% ・まだまだ改善の余地あり。室内の収納場所、収納方法を工夫し、遊びやすい空間を更新していく。 ・それぞれの発達に合わせた配慮をするために、クラス活動を取り入れたが、職員の有給や子供達の休みもあり、なかなか実行することができなかった。 ・ミーティングでは、日々の保育に関することだけではなく、研修報告や、地域についての学びを深めるための企画なども取り入れる計画をしたが、実施することができなかった。 ・子供達の学びは、今後も発見したものを中心に進めていく。大人の学びも同じように行いたい。 ② 行事の進め方 達成率80% ・対話については、行事に偏った内容になっているため、日々の出来事から生まれるテーマでの対話を増やしていきたい。 ・行事については、子供達と作る形が定着している。保護者の理解も得られている。今後も自分たちで作る保育園であるという意識が持てるように子供達と考える時間を持つようにする。 ③ 保育園拠点の子育て 達成率5% ・未就園児が少数のため、利用者はほとんどいないが、園舎を利用しているということで、保護者も安心して過ごすことができていた。 ・歩行が始まっていない乳児も利用できるよう、玩具や室内の整備が必要。
その他				

項目	令和6年度	事業計画	令和6年度	事業実績	令和6年度	事業実績	具体的内容	達成度																																																																																																												
利用定員	小松南らる	小松南らる第二	小松南らる第一	小松南らる第二	小松南らる第一	小松南らる第二		小松南らる第一	小松南らる第二																																																																																																											
	●事業定員 61名 ●予算定数 4月1日児童数（人） <table><tr><td>学年</td><td>在籍人数</td></tr><tr><td>1年</td><td>39</td></tr><tr><td>2年</td><td>21</td></tr><tr><td>3年</td><td>0</td></tr><tr><td>4年</td><td>1</td></tr><tr><td>合計</td><td>61</td></tr></table> *障がい児 1年生 1名 2年生 3名 4年生 1名	学年	在籍人数	1年	39	2年	21	3年	0	4年	1	合計	61	●事業定員 32名 ●予算定数 4月1日児童数（人） <table><tr><td>学年</td><td>在籍人数</td></tr><tr><td>1年</td><td>0</td></tr><tr><td>2年</td><td>26</td></tr><tr><td>3年</td><td>6</td></tr><tr><td>合計</td><td>32</td></tr></table>	学年	在籍人数	1年	0	2年	26	3年	6	合計	32	●実績 3月在籍児童数（人） 入・退…年度途中入退会数 <table><tr><td>学年</td><td>在籍人数</td></tr><tr><td>1年</td><td>40（入：3退：2）</td></tr><tr><td>2年</td><td>20（退：1）</td></tr><tr><td>3年</td><td>0</td></tr><tr><td>4年</td><td>1</td></tr><tr><td>合計</td><td>61</td></tr></table> *障がい児 1・4年生 各1名 2年生 3名 ●子ども総合プランの「県「夏季一時学童」 在籍：1年生3名 2年生3名 3年生1名 4年生1名 計8名	学年	在籍人数	1年	40（入：3退：2）	2年	20（退：1）	3年	0	4年	1	合計	61	●実績 3月在籍児童数（人） 入・退…年度途中入退会数 <table><tr><td>学年</td><td>在籍人数</td></tr><tr><td>1年</td><td>1（入：1）</td></tr><tr><td>2年</td><td>23（入：2退：5）</td></tr><tr><td>3年</td><td>8（入：3退：1）</td></tr><tr><td>合計</td><td>32</td></tr></table>	学年	在籍人数	1年	1（入：1）	2年	23（入：2退：5）	3年	8（入：3退：1）	合計	32	●延長保育実績（人） <table><tr><td>月別</td><td>延長人数</td><td>月別</td><td>延長人数</td></tr><tr><td>4月</td><td>8</td><td>10月</td><td>9</td></tr><tr><td>5月</td><td>10</td><td>11月</td><td>11</td></tr><tr><td>6月</td><td>9</td><td>12月</td><td>12</td></tr><tr><td>7月</td><td>9</td><td>1月</td><td>11</td></tr><tr><td>8月</td><td>9</td><td>2月</td><td>11</td></tr><tr><td>9月</td><td>9</td><td>3月</td><td>11</td></tr><tr><td>合計</td><td colspan="2">119</td><td></td></tr></table>	月別	延長人数	月別	延長人数	4月	8	10月	9	5月	10	11月	11	6月	9	12月	12	7月	9	1月	11	8月	9	2月	11	9月	9	3月	11	合計	119			●延長保育実績（人） <table><tr><td>月別</td><td>延長人数</td><td>月別</td><td>延長人数</td></tr><tr><td>4月</td><td>11</td><td>10月</td><td>8</td></tr><tr><td>5月</td><td>11</td><td>11月</td><td>8</td></tr><tr><td>6月</td><td>11</td><td>12月</td><td>8</td></tr><tr><td>7月</td><td>10</td><td>1月</td><td>7</td></tr><tr><td>8月</td><td>9</td><td>2月</td><td>8</td></tr><tr><td>9月</td><td>9</td><td>3月</td><td>8</td></tr><tr><td>合計</td><td colspan="2">108</td><td></td></tr></table>	月別	延長人数	月別	延長人数	4月	11	10月	8	5月	11	11月	8	6月	11	12月	8	7月	10	1月	7	8月	9	2月	8	9月	9	3月	8	合計	108				
	学年	在籍人数																																																																																																																		
1年	39																																																																																																																			
2年	21																																																																																																																			
3年	0																																																																																																																			
4年	1																																																																																																																			
合計	61																																																																																																																			
学年	在籍人数																																																																																																																			
1年	0																																																																																																																			
2年	26																																																																																																																			
3年	6																																																																																																																			
合計	32																																																																																																																			
学年	在籍人数																																																																																																																			
1年	40（入：3退：2）																																																																																																																			
2年	20（退：1）																																																																																																																			
3年	0																																																																																																																			
4年	1																																																																																																																			
合計	61																																																																																																																			
学年	在籍人数																																																																																																																			
1年	1（入：1）																																																																																																																			
2年	23（入：2退：5）																																																																																																																			
3年	8（入：3退：1）																																																																																																																			
合計	32																																																																																																																			
月別	延長人数	月別	延長人数																																																																																																																	
4月	8	10月	9																																																																																																																	
5月	10	11月	11																																																																																																																	
6月	9	12月	12																																																																																																																	
7月	9	1月	11																																																																																																																	
8月	9	2月	11																																																																																																																	
9月	9	3月	11																																																																																																																	
合計	119																																																																																																																			
月別	延長人数	月別	延長人数																																																																																																																	
4月	11	10月	8																																																																																																																	
5月	11	11月	8																																																																																																																	
6月	11	12月	8																																																																																																																	
7月	10	1月	7																																																																																																																	
8月	9	2月	8																																																																																																																	
9月	9	3月	8																																																																																																																	
合計	108																																																																																																																			
職員配置	●予算人員 児童支援員4名 （内非常勤2名） 子ども総合プラン 児童支援員2名 （内施設長兼務1名） （内非常勤1名）	●予算人員 児童支援員3名 （内非常勤2名）	●実績人員 児童支援員4名（内非常勤2名） 子ども総合プラン 児童支援員2名 （内施設長兼務1名 非常勤1名） ●年度途中の入退職・異動など 5月 保育補助 1名入職 6月 児童支援員1名退職 7月 児童支援員1名 西新小岩あやから異動	●実績人員 児童支援員3名 （内非常勤2名） ●年度途中の入退職・異動など なし																																																																																																																
処遇の特例事項			●感染症 4・12・1月 インフルエンザ18名 4月 溶連菌感染症2名 11月 手足口病1名 11・12月 マイコプラズマ肺炎2名 12月 感染性胃腸炎1名 1・2月 新型コロナウイルス感染症2名 伝染性紅斑1名 胃腸炎1名 2月 ヒトメタニューモウイルス1名 ●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我 3件 2年女児 右頬の火傷 1年女児 右前歯の歯冠破折 2年男児 右目の炎症 ●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし	●感染症 12・1月 インフルエンザ5名 12月 マイコプラズマ肺炎1名 新型コロナウイルス感染症1名 1月 流行性角結膜炎1名 ●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我 なし	○新型コロナウイルス感染症、インフルエンザなど、感染防止策を徹底し、行事等を実施した。また、学級・学年閉鎖時は、各小学校と連携を図り、感染予防対策を強化した。 ○らる第一 ・低学年が、物の扱い方の経験不足や物や人との距離の取り方がつかめていない事が原因と思われる。児童と物の扱い方や物・人との距離の取り方について話し合い、注意喚起を行った。																																																																																																															

項目	令和6年度	事業計画	令和6年度	事業実績	令和6年度	事業実績	具体的内容	達成度																																																																																																																										
利用定員	るりたつみ	西新小岩あや	るりたつみ	西新小岩あや	るりたつみ	西新小岩あや		るりたつみ	西新小岩あや																																																																																																																									
	●事業定員40名 ●予算定数 4月1日児童数（人） <table><tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr><tr><td>1年</td><td>11</td></tr><tr><td>2年</td><td>6</td></tr><tr><td>3年</td><td>13</td></tr><tr><td>4年</td><td>9</td></tr><tr><td>5年</td><td>1</td></tr><tr><td>合計</td><td>40</td></tr></table> *障がい児 1年生 1名	学年	在籍人数	1年	11	2年	6	3年	13	4年	9	5年	1	合計	40	●事業定員 109名 ●予算定数 4月1日児童数（人） <table><tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr><tr><td>1年</td><td>30</td></tr><tr><td>2年</td><td>37</td></tr><tr><td>3年</td><td>19</td></tr><tr><td>4年</td><td>14</td></tr><tr><td>5年</td><td>3</td></tr><tr><td>6年</td><td>1</td></tr><tr><td>合計</td><td>104</td></tr></table> *障がい児 1・2・5・6年生 各1名 3・4年生 2名	学年	在籍人数	1年	30	2年	37	3年	19	4年	14	5年	3	6年	1	合計	104	●実績 3月在籍児童数（人） <table><tr><th></th><th>在籍人数</th></tr><tr><td>1年</td><td>10（退：1）</td></tr><tr><td>2年</td><td>7（入：1）</td></tr><tr><td>3年</td><td>12（入：1）</td></tr><tr><td>4年</td><td>7（退：2）</td></tr><tr><td>5年</td><td>2（入：1）</td></tr><tr><td>合計</td><td>38</td></tr></table> 入・退…年度途中入退会数 *障がい児 1年生 1名		在籍人数	1年	10（退：1）	2年	7（入：1）	3年	12（入：1）	4年	7（退：2）	5年	2（入：1）	合計	38	●実績 3月在籍児童数（人） <table><tr><th></th><th>在籍人数</th></tr><tr><td>1年</td><td>34（入：7退：3）</td></tr><tr><td>2年</td><td>32（退：5）</td></tr><tr><td>3年</td><td>16（入：1退：4）</td></tr><tr><td>4年</td><td>5（退：9）</td></tr><tr><td>5年</td><td>2（退：1）</td></tr><tr><td>6年</td><td>1</td></tr><tr><td>合計</td><td>90</td></tr></table> 入・退…年度途中入退会数 *障がい児 1・2・4・5・6年生 各1名 3年生 2名		在籍人数	1年	34（入：7退：3）	2年	32（退：5）	3年	16（入：1退：4）	4年	5（退：9）	5年	2（退：1）	6年	1	合計	90	●延長保育実績（人） <table><tr><th>月別</th><th>延長人数</th><th>月別</th><th>延長人数</th></tr><tr><td>4月</td><td>6</td><td>10月</td><td>5</td></tr><tr><td>5月</td><td>6</td><td>11月</td><td>4</td></tr><tr><td>6月</td><td>7</td><td>12月</td><td>4</td></tr><tr><td>7月</td><td>7</td><td>1月</td><td>4</td></tr><tr><td>8月</td><td>7</td><td>2月</td><td>4</td></tr><tr><td>9月</td><td>5</td><td>3月</td><td>4</td></tr><tr><td>合計</td><td colspan="2">63</td></tr></table>	月別	延長人数	月別	延長人数	4月	6	10月	5	5月	6	11月	4	6月	7	12月	4	7月	7	1月	4	8月	7	2月	4	9月	5	3月	4	合計	63		●延長保育実績（人） <table><tr><th>月別</th><th>延長人数</th><th>月別</th><th>延長人数</th></tr><tr><td>4月</td><td>31</td><td>10月</td><td>25</td></tr><tr><td>5月</td><td>31</td><td>11月</td><td>28</td></tr><tr><td>6月</td><td>31</td><td>12月</td><td>24</td></tr><tr><td>7月</td><td>30</td><td>1月</td><td>26</td></tr><tr><td>8月</td><td>30</td><td>2月</td><td>23</td></tr><tr><td>9月</td><td>30</td><td>3月</td><td>23</td></tr><tr><td>合計</td><td colspan="2">332</td></tr></table>	月別	延長人数	月別	延長人数	4月	31	10月	25	5月	31	11月	28	6月	31	12月	24	7月	30	1月	26	8月	30	2月	23	9月	30	3月	23	合計	332			
	学年	在籍人数																																																																																																																																
1年	11																																																																																																																																	
2年	6																																																																																																																																	
3年	13																																																																																																																																	
4年	9																																																																																																																																	
5年	1																																																																																																																																	
合計	40																																																																																																																																	
学年	在籍人数																																																																																																																																	
1年	30																																																																																																																																	
2年	37																																																																																																																																	
3年	19																																																																																																																																	
4年	14																																																																																																																																	
5年	3																																																																																																																																	
6年	1																																																																																																																																	
合計	104																																																																																																																																	
	在籍人数																																																																																																																																	
1年	10（退：1）																																																																																																																																	
2年	7（入：1）																																																																																																																																	
3年	12（入：1）																																																																																																																																	
4年	7（退：2）																																																																																																																																	
5年	2（入：1）																																																																																																																																	
合計	38																																																																																																																																	
	在籍人数																																																																																																																																	
1年	34（入：7退：3）																																																																																																																																	
2年	32（退：5）																																																																																																																																	
3年	16（入：1退：4）																																																																																																																																	
4年	5（退：9）																																																																																																																																	
5年	2（退：1）																																																																																																																																	
6年	1																																																																																																																																	
合計	90																																																																																																																																	
月別	延長人数	月別	延長人数																																																																																																																															
4月	6	10月	5																																																																																																																															
5月	6	11月	4																																																																																																																															
6月	7	12月	4																																																																																																																															
7月	7	1月	4																																																																																																																															
8月	7	2月	4																																																																																																																															
9月	5	3月	4																																																																																																																															
合計	63																																																																																																																																	
月別	延長人数	月別	延長人数																																																																																																																															
4月	31	10月	25																																																																																																																															
5月	31	11月	28																																																																																																																															
6月	31	12月	24																																																																																																																															
7月	30	1月	26																																																																																																																															
8月	30	2月	23																																																																																																																															
9月	30	3月	23																																																																																																																															
合計	332																																																																																																																																	
職員配置	●予算人員 児童支援員4名 （内非常勤1名） （内1名 4月育児休取得）	●予算人員 児童支援員6名 （内非常勤3名） 補助員2名	●実績人員 児童支援員3名 （内非常勤1名） ●年度途中の入退職・異動など 9月 児童支援員1名 西新小岩あやへ異動	●実績人員 児童支援員5名 （内非常勤3名） 補助員4名 ●年度途中の入退職・異動など 6・7月 児童支援員各1名入職 6・7・10・11月保育補助各1名入職 6・10月 児童支援員各1名退職 6月 児童支援員1名うらら保育園へ異動 7月 児童支援員1名小松南らるへ異動 8月 保育補助1名退職 9月 児童支援員1名るりへ異動																																																																																																																														
処遇の特例事項			●感染症 4・7月 水痘3名 6月 溶連菌感染症1名 7月 新型コロナウイルス感染症1名 8月 手足口病1名 10月 マイコプラズマ肺炎1名 12月 インフルエンザ2名 流行性角結膜炎1名 ●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我 なし ●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし。但し、あやは、本部に苦情連絡が入った事案があった。 ※右欄参照	●感染症 5・6・9・2月 溶連菌感染症7名 6月 ヘルパンギーナ1名 8・12月 インフルエンザ7名 9・10月 手足口病4名 9・10・12月伝染性紅斑4名 2月 ウイルス性胃腸炎・ノロウイルス・新型コロナウイルス感染症各1名 ●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我 5件 左母指 MP 関節炎／角膜擦過傷／角膜糜爛／左第二趾挫創／右足第二度熱傷	※職員の児童と保護者への対応が不十分であったため、本部に状況の確認、苦情の連絡が入った。職員間のコミュニケーションエラーにより、児童同士の喧嘩を終息させなかった。また、状況に応じた判断や行動が出来なかった事により、対応が難航し。保護者の気持ちに寄り添った対応が出来なかった事が要因としてあげられる。今回の件を受けて、組織の課題と改善策についての話し合いを行った。 ●組織の課題 ※課題となる4点をポイントとして示す ・①職員間の連携不足 ②苦情が入った時の対応が明確化されていない ③保育の質・危機管理能力の向上 ④各施設の事案を、組織として対応していない ●改善策 ・①報告・連絡・相談・確認の方法を確立し、マニュアルを作成する ②苦情対応の職員の行動指針として、フローチャート及び職務分担表を作成する ③階層別の育成内容を構築し、職員の育成強化を図る。また、保護者対応や危機管理の研修を受講し、保育の質を高める ④各施設の事案を共有し、組織として対応する仕組みを作る	○あや ・同じ児が複数回受診しており、物の扱い方の経験不足や、危険予測が出来ていない事が原因と思われる。児童と物の扱い方や、自ら身を守るための行動について考える機会を設けると共に、職員間で個別配慮が必要な児について共有した。																																																																																																																												

項目	令和6年度 事業計画		令和6年度 事業実績		令和6年度 事業実績 具体的内容		達成度
重点項目	＜全学童 共通＞ ①安心な保育 ○児童が“すきなコト・モノ”に出会い、心高鳴る環境づくり ○保護者・関係機関と連携を図り、児童、保護者にとって安心な保育に繋げる		＜全学童 共通＞ ① 安心な保育 ○児童の声を聴き、支援員と共に環境を考え、やりたいを形に出来る環境づくりを実践した。 ○関係機関と連携を図り、生活の連続性を保障した。		＜全学童 共通＞ ① 安心な保育 ○五感に響く素材を準備し、児童が選択できる環境を整え、表現活動を楽しんでいた。 ○高齢施設・保育園と交流・情報交換を行った。また、小学校との情報交換や保護者と個人面談を行うことで、生活の連続性を保障し、児童一人ひとりの支援へ繋がった。		① 安心な保育 全学童 共通 達成率 らる第一 80% るる第二・るり・あや85% ・引き続き児童の声を聴き、居心地の良い保育環境づくりを実践してゆく。
	るる第一 ●児童が「やりたい」を発信し、遊びをきっかけに仲間関係を築いてゆく。	るりたつみ ●手がけることの喜びを感じ、暮らしを豊かにしてゆく。	るる第一 ●児童が、やりたい事を企画し、実践する過程で、仲間と作りあげる喜びを感じ、関係性が広がった。	るりたつみ ●遊びや生活を上級生が、下級生に伝承し、手がけることへの喜びを感じていた。	るる第一 ●遊びを通して、時に気持ちがぶつかり合い、葛藤を繰り返しながらも、関係性が築かれていった。	るりたつみ ●暮らしの中で、モノ・コト・食などを手がけることを行い、仲間と協力し暮らしを創っていった。	
	るる第二 ●自分で、仲間との体験を積む時間・空間を大切にした保育づくり。	あや ●様々な経験を通し、知恵を身につける暮らしづくり。	るる第二 ●一人ひとりが、心地よく過ごす時間や空間について話し合い、考える力を身につけていった。	あや ●食体験や遊びの中で、得た経験を伝え合い、仲間と相談し、暮らしをつくりあげていった。	るる第二 ●自分、自分達で選択・決定・実現することが可能な保育環境について話し合う時間を積み重ね、保育づくりを行った。	あや ●活動や関わり合いの中で、身近な人の思いに触れ、仲間と工夫しながら知恵を身につけていった。	
②安全な保育環境 ○安全対策・緊急時対応の強化 ・BCP（事業継続計画）、安全計画を継続的に見直し、計画を基に、シミュレーションを行い、緊急時の行動力を高める。 ・非常時の用品の確保と置き場所を再考し、初期対応が迅速に出来るように備える。 ・児童と地域を巡り、危険な場所、学校110番を設置している場所を把握し、マップを作成し安全確保を図る。また、児童が自ら危険を回避出来るように支援してゆく。 ・安全対策委員会の役割を明確化し、児童が安全に過ごすために、安全対策を施し、事故発生予防や事故発生時の再発防止に努め、保育の安定に繋げる。 ・マニュアル・手順書を継続的に見直し、習慣化を図る。		②安全な保育環境 ○安全対策・緊急時対応の強化 ・BCP（事業継続計画）、安全計画を見直し、計画に基づいたシミュレーションを行い、安全点検や児童の安全教育について定着を図った。 ・施設ごとに、非常時の用品が直ぐに取り出せる様に、置き場所を変更した。 ・学校110番のマップを学校より提供してもらい、それを基に危険箇所について児童と話し合いは行なったが、マップの作成に至らなかった。また、安全に過ごせるために意見交換を行い、危険回避が出来るように意識を高めた。 ・安全対策委員の編成を行い、昨年度末に発生した事故について委員会を開き、SHELL分析を実施した。 ・安全な保育環境チームが中心となり、マニュアル・手順書の見直しを行った。また、新任・初任層の年間研修計画を立案・実施し育成を強化した。		②安全な保育環境 ○安全対策・緊急時対応の強化 ・災害時行動基準について全職員が共有し、緊急連絡網の改定を行った。安全計画を基に、警察署員による不審者訓練後、安全な保育環境チームが振り返りシートを配布。施設ごとに振り返りを実施し、課題を改善した。また、全職員が窒息対応を学び、有事に備えた。 ・迅速な対応が出来るように非常時の用品の置き場の図を作成し、職員間で共有した。 ・児童と共に避難訓練の振り返りや窒息、急な天候の変化について考えることで、児童が自ら危険を回避出来るように支援した。 ・安全対策委員の再編を行い、役割を明確化した。昨年度末に発生した事故の再発防止策について話し合ったが、学童期の発達を踏まえた上での対策を立てるまでに、時間を要してしまった。 ・新任・初任層対象にマニュアルの読み合わせや研修を行い、知識を増やし、対応力を身につけた。また、新規にICTシステムのマニュアルを作成。新任層が全体の流れを理解し、安全な保育へと繋がった。		② 安全な保育環境 達成率75% ・安全マップの作成に至らなかったため、次年度に実施してゆく。 ・安全対策委員の危機管理能力向上のために、次年度は、外部・園内研修を通して学び、安心・安全な保育に繋げる。	

15

③ 保育の組織力の向上 ○職員の育成強化 ・OJT 制度を基に、個々の育成シートを作成し、法人職員としての基本姿勢や業務を理解し、新任層育成の充実を図る。 ・研修等で得た気づきから、中堅、リーダー層が、役割を自覚し、個々の成長から組織力の向上に繋げる。 ・チームの課題を自分ごととして捉え、職員が主体的に行動し、チーム力向上を目指す。 ○保育の資質向上 ・児童の権利保障について学びを深め、こどもまんなか社会を意識し、育成支援について省察する。 ・「子どもの育ちや姿」について語り合い、学童で大切にしたい保育・行事・食を引き続き考察する。	③保育の組織力の向上 ○職員の育成強化 ・OJT 育成シートや個人研修計画・評価シートを活用し、中堅層と新任層、副主任と中堅層がベアになり、育成に取り組んだが、目標達成のための内容が、共通理解されていない部分があった。 ・職員間のコミュニケーションエラーにより、支援が必要な児童に昼食を提供しなかった事案が起きた。 ・副主任と中堅層以上が課題を抽出し、職員会議を企画した。職員間で思いや気づきを伝え合い、学童の大切にしたいことを話し合った。 ・各施設が、チームの目標を可視化・掲示し、常に意識できるように努めた。 ○保育の資質向上 ・内外部の研修を受講。「児童の権利保障」について全国の事例を通して全職員で学んだ。また、研修後、「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を基に、一人ひとりが自分の保育を振り返り、不適切な保育や虐待を防ぐ組織づくりについて話し合った。 ・保育の資質向上チームが中心となり、子供の育ちや関わり方について会議等で語り合った。また、保育・行事・食について、なぜ大切にしているのかを掘り下げて話し合いを行った。 ・職員間で「子どもの育ちや姿」を話し合う中で、「個別配慮が必要な児童の保育」について、保育する中での迷いや悩みが声に上がり、職員会議や月案で共有した。	③保育の組織力の向上 ○職員の育成強化 ・OJT 育成シート作成時、基礎となる階層別研修体系の具体的な行動指針を示していなかったため、目標達成のための業務や手段が共有されていない部分があった。 ・職員間で報告・連絡・相談や、確認の徹底をし、保護者からの伝達は、伝言表に記入し可視化する事を周知した。 ・中堅層以上が、外部研修や他施設の見学で得た学びや気づきを、全職員に共有したことで、より環境を考察してゆくきっかけとなった。 ・「自分」や、「自分達」がすべきことを自覚し、定期的に振り返り、様々な意見を交わし合う事で、目標達成に向けて意識を高めた。 ○保育の資質向上 ・10月に宇地原 栄斗氏（認定 NPO 法人 Learning for All エリアマネージャー）「子どもの権利条約から保育を考える」の外部研修を正規職員が受講。12月に寺町 東子氏（東京きぼう法律事務所弁護士・社会福祉士・保育士）を講師に招き、「子どもの人権を守る保育」の園内研修を行った。どのような行為、言動が不適切な保育・虐待となるのかを理解し、個々の感情をコントロールする方法を知り、児童の人権を尊重する保育に努めた。 ・6月に細川真吾氏（ホソカワシュピールバーレン）を講師に招き、「すきなコト・モノ・ヒト・心高鳴る環境づくり」について、全職員対象に園内研修を行った。学童期の発達から、すきなモノを環境の中にどのようにデザインする事が、ワクワクする環境となるのかを話し合い、学童で大切にしたい保育について学びを深めた。 ・「個別配慮が必要な児童の保育」について、外部研修で得た学びを伝え合った。一人ひとりにあった配慮や空間の確保、対応について様々な視点から意見を出し合い、児童の姿に沿った保育を考察した。	③ 保育の組織力の向上 達成率 70% ・OJT シート作成時の基礎となる階層別の育成内容を明確化し、OJT 研修の効果を高める。 ・相手と自分の認識の相違からコミュニケーションエラーが発生しないように、報告・連絡・相談や、確認の徹底を図ってゆく。
---	--	---	---

令和6年度　すずうらホーム（特養・短期）事業報告（案）

令和7年5月21日 作成

項目	令和 6 年度 事業計画	令和 6 年度 事業実績	令和 6 年度 事業実績 具体的内容	達成度																																																																																																																				
利用定員	●計画人員 ○予算定数 ・特養予算計画・・・ 年間平均入所率 8 4 名×9 3 %で計画 ・短期予算計画・・・ 年間平均稼働率 8 名×8 0 %で計画 *状況に応じて、特例を利用して運営を実施する。	●実績 月別利用人数 【特養実績】年間稼働率 「 91.94 % 」 <table><tr><td></td><td>4 月</td><td>5 月</td><td>6 月</td><td>7 月</td><td>8 月</td><td>9 月</td><td>1 0 月</td><td>1 1 月</td><td>1 2 月</td><td>1 月</td><td>2 月</td><td>3 月</td></tr><tr><td>月末在籍者数</td><td>81 名</td><td>80 名</td><td>81 名</td><td>80 名</td><td>83 名</td><td>83 名</td><td>83 名</td><td>77 名</td><td>80 名</td><td>83 名</td><td>82 名</td><td>84 名</td></tr><tr><td>月末入院者数</td><td>4 名</td><td>5 名</td><td>7 名</td><td>2 名</td><td>6 名</td><td>2 名</td><td>7 名</td><td>4 名</td><td>0 名</td><td>1 名</td><td>2 名</td><td>2 名</td></tr><tr><td>退所者数</td><td>1 名</td><td>2 名</td><td>3 名</td><td>3 名</td><td>0 名</td><td>3 名</td><td>2 名</td><td>6 名</td><td>3 名</td><td>2 名</td><td>3 名</td><td>1 名</td></tr><tr><td>入所者数</td><td>2 名</td><td>1 名</td><td>4 名</td><td>2 名</td><td>3 名</td><td>3 名</td><td>2 名</td><td>0 名</td><td>6 名</td><td>5 名</td><td>2 名</td><td>3 名</td></tr></table> 【短期実績】年間稼働率 「 82. 53 % 」 <table><tr><td></td><td>4 月</td><td>5 月</td><td>6 月</td><td>7 月</td><td>8 月</td><td>9 月</td><td>1 0 月</td><td>1 1 月</td><td>1 2 月</td><td>1 月</td><td>2 月</td><td>3 月</td></tr><tr><td>利用延べ日数</td><td>186</td><td>197</td><td>196</td><td>201</td><td>203</td><td>207</td><td>209</td><td>180</td><td>247</td><td>221</td><td>172</td><td>200</td></tr><tr><td>利用者数</td><td>22 名</td><td>23 名</td><td>20 名</td><td>25 名</td><td>18 名</td><td>31 名</td><td>28 名</td><td>24 名</td><td>27 名</td><td>23 名</td><td>16 名</td><td>20 名</td></tr><tr><td>内) 新規利用者数</td><td>2 名</td><td>3 名</td><td>2 名</td><td>5 名</td><td>0 名</td><td>12 名</td><td>5 名</td><td>2 名</td><td>5 名</td><td>3 名</td><td>1 名</td><td>3 名</td></tr></table> ●事業実績 ・特養実績の詳細…入院期間「1,430 日」、契約解除後空床期間「1,051 日」、外泊空床期間「0 日」 合計：2,481 日 ※退所…男性 5 名 女性 24 名（計 29 名） ※入所…男性 9 名 女性 24 名（計 33 名） ・短期実績の詳細…年間稼働日数「2,419 日 」		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	月末在籍者数	81 名	80 名	81 名	80 名	83 名	83 名	83 名	77 名	80 名	83 名	82 名	84 名	月末入院者数	4 名	5 名	7 名	2 名	6 名	2 名	7 名	4 名	0 名	1 名	2 名	2 名	退所者数	1 名	2 名	3 名	3 名	0 名	3 名	2 名	6 名	3 名	2 名	3 名	1 名	入所者数	2 名	1 名	4 名	2 名	3 名	3 名	2 名	0 名	6 名	5 名	2 名	3 名		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	利用延べ日数	186	197	196	201	203	207	209	180	247	221	172	200	利用者数	22 名	23 名	20 名	25 名	18 名	31 名	28 名	24 名	27 名	23 名	16 名	20 名	内) 新規利用者数	2 名	3 名	2 名	5 名	0 名	12 名	5 名	2 名	5 名	3 名	1 名	3 名	特養「9 1.9 4 %」 <
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月																																																																																																												
月末在籍者数	81 名	80 名	81 名	80 名	83 名	83 名	83 名	77 名	80 名	83 名	82 名	84 名																																																																																																												
月末入院者数	4 名	5 名	7 名	2 名	6 名	2 名	7 名	4 名	0 名	1 名	2 名	2 名																																																																																																												
退所者数	1 名	2 名	3 名	3 名	0 名	3 名	2 名	6 名	3 名	2 名	3 名	1 名																																																																																																												
入所者数	2 名	1 名	4 名	2 名	3 名	3 名	2 名	0 名	6 名	5 名	2 名	3 名																																																																																																												
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月																																																																																																												
利用延べ日数	186	197	196	201	203	207	209	180	247	221	172	200																																																																																																												
利用者数	22 名	23 名	20 名	25 名	18 名	31 名	28 名	24 名	27 名	23 名	16 名	20 名																																																																																																												
内) 新規利用者数	2 名	3 名	2 名	5 名	0 名	12 名	5 名	2 名	5 名	3 名	1 名	3 名																																																																																																												

項目	令和 6 年度 事業計画	令和 6 年度 事業実績	令和 6 年度 事業実績 具体的内容	達成度
重点目標	① 運営の安定を図る ○稼働率の安定 ・契約解除後空床及び入院空床の要因分析を行うことで計画的な待機者確保や健康管理の意識づけを行い、空床日数の減少に取り組むことで稼働率の安定を図る。 ○人材確保と育成 ・人材採用活動を継続し、監督職やリーダーがチームマネジメントを十分に行える体制を確保する。 ・外国人人材を受け入れにおける支援機関との協力体制を構築するとともに積極的な受け入れに取り組む。 ・ハンドブックの内容を見直し、福祉従事者に必要な知識や制度などを追加することで入職時資料や職員の学び、育成に活用できるものへとブラッシュアップする。 ・職員個々の特徴や特性、キャリアビジョンを踏まえた育成計画を立案し、それを基に指導・育成を行う。 ○生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくり ・生産性向上委員会を発足し、現在の業務を検証すると共に、業務の効率化を図る。また、直接助業業務と間接業務など分業制を取り入れ、それぞれに必要な人材を配置することで職員個々の負担を軽減すると共にサービスの質を確保する。 ○制度改正に伴う取り組み ・令和 6 年度介護保険制度改正に伴う、料金改定・取得加算項目の整理、体制整備を行う。	① 運営の安定を図る ○稼働率の安定 ・特養に関しては 1.06% 足りない状況であった。ショートステイに関しては数年ぶりに 80% 超え、目標値+2.53% で維持できた。 ○人材確保と育成 ・育成に関して年間通して介護職員（常勤）の採用に苦慮したこともあり、リーダー・監督職共に業務遂行が主となってしまったが、その中で次年度に向けた人材育成は実施出来た。人材確保の面では、特定技能人材・非常勤職員（日勤常職員）採用など直接雇用人材を確保できた。 ・特定技能介護人材 4 名、非常勤介護職員 3 名、非常勤看護師 1 名を採用した。 ・監督職とフロアリーダーの連携が上手く図れなかったが、職員個々の気づきにより個々の良い所を伸ばしていくことで良い方向につながった。 ○生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくり ・生産性向上委員会を発足したが、目立った活動はできなかった。日勤常職員採用により日によってだが一日中間接業務等業務分担など行えた。 ○制度改正に伴う取り組み ・今年度新たに算定できる加算の取得と次年度から算定できる加算の取得のため、体制を整え手続きを行なった。	① 運営の安定を図る ○稼働率の安定 ・特養・ショートステイともに業務兼務としていたが、生活相談員の増員により業務分担を明確にし、専門業務としたことで特養・ショートステイの新規利用者獲得が積極的に行え、稼働安定につながった。 ○人材確保と育成 ・リーダーと監督職にて職員育成の連携がとりづらい状況の中で、現場職員がフロアリーダーのフォローや情報共有をチーム内で実施したことで、特に中堅といわれる世代が自身達の実施すべき対利用者支援についてチームのもと考え行動していた。 ・8 月に 3 名、2 月に 1 名の特定技能介護職員を採用し、採用時期が異なるため、業務内容に差はあるが夜勤業務に従事している者もいる。 ○生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくり ・日勤常職員を採用したことで間接業務に担当者を配置して実施し、空いた時間をレクリエーションなど日々の活動に繋げることができた。議事録作成 AI システムの試験的導入もした。 ○制度改正に伴う取り組み ・短期入所の機能訓練加算を取得し、次年度より算定できる ADL 維持等加算の取得に向けデータを 5 月・11 月に厚労省へ提出した。また、医療連携体制加算取得のため、東京曳舟病院と協定を結んだ。	【達成度：80%】 ○稼働目標には到達しなかったが、契約解除後の空床を昨年度より 600 日減らすことができた ○人材確保の課題はあるものの育成等は実施できた ○生産性向上推進委員会の活動は少なかったが、介護職のサービス向上を目的とした業務分担はできた ○現在の体制で取得できる加算算定は実施できた
	② 生活の質の向上 ○「あたりまえ」を大切にする支援 ・日々の生活における「あたりまえ」を大切にし、利用者の言動や心身状態の変化への気づき、整容、環境などをより追及し、記録や支援に取り組むことで利用者・家族がより安心・安全と感じるサービスの提供を実践する。 ○楽しみの充実 ・季節を感じられる年中行事を大切にし、一つ一つを丁寧に企画・実施することで、日常生活の中の楽しみとなるような機会にする。 ・販売会、マルシェ、クラブ活動を通して施設利用者と地域住民が共に参加できる機会を作る事によって社会参加意識を高める。	② 生活の質の向上 ○「あたりまえ」を大切にする支援 ・あたりまえのとらえ方など個々で異なる部分はあったが、職員個々であたりまえの介護について考えて行動する様子があった。コロナの自粛期間が長く「あたりまえ」だったものが特別になっている事案が多くあったが、それが普通に戻ってきている。記録についても偏りはあるものの情報収集や共有・記録を残すという部分を意識して取り組んだ。 ○楽しみの充実 ・新型コロナウイルス以降、実施できていなかった外出行事を再開し、毎月季節に合わせた食事・入浴・イベントなどを実施することができた。 ・各フロアでレクリエーション実施し、その際に他フロアの利用者が行き来したり、他フロア間の利用者交流も行った。	②生活の質の向上 ○「あたりまえ」を大切にする支援 ・整容・排泄支援などあたりまえのことを実施できるように各部署・委員会にて行った。認識の違いは個々であったが、達成に向けて建設的な話し合いをとる様子もあった。記録と根拠を紐付けするために、何を目的に情報収集するのか、などチームに開示出来ている職員が多く見られた。また疑問を持ち他職種と連携を図る様子もあった。 ○楽しみの充実 ・年間計画にて立案したものについて実施し、柴又帝釈天、葛西臨海公園、お花見などの外出行事を企画・実施することができた。また、給食委託業者による駅弁祭り・ご当地おやつなども利用者楽しんで頂けた。クラブ活動については調整がつかず企画倒れになってしまった。にじいろマルシェについては毎月実施できたが、利用者・家族等への参加・関わりについては次年度の検討項目とした。	【達成度：90%】 ○認識は違う部分はあったが利用者ファーストの行動はとれた。 ○外出行事を再開し、毎月のレクリエーション実施など楽しみの提供は行えた
その他	●東京都福祉サービス第三者評価を計画	●東京都福祉サービス第三者評価を計画通りの実施	●東京都福祉サービス第三者評価を計画通りの実施 ・評価機関は「一般社団法人 特養ホームマネジメント研究所」 ・家族アンケートでは「大変満足」、「満足」と合わせて 98% という結果であった。	

< 令和 6 年度 事業計画 >

令和 6 年度 西新小岩在宅サービスセンター 事業報告（案）

令和 7 年 5 月 21 日 作成

項目	令和 6 年度 事業計画	令和 6 年度 事業実績（課題）	令和 6 年度 事業実績 具体的内容	達成度																																										
利用定員	●予算人員 ・営業日数 294 日 ・登録者数 60 人 ・1 日の目標利用者数 22 名 ・目標稼働率 73%	●実績人員 ・営業日数 294 日 ・1 ヶ月あたりの利用者数 約 361 人 ・新規契約者 35 名 ・解約者 24 名（内すずうら入所 6 名、死亡 8 名 他施設入所 10 名） ・登録者数 45 名	<table><tr><td>営業月</td><td>4 月</td><td>5 月</td><td>6 月</td><td>7 月</td><td>8 月</td><td>9 月</td></tr><tr><td>月利用者数</td><td>36 名</td><td>34 名</td><td>39 名</td><td>43 名</td><td>43 名</td><td>44 名</td></tr><tr><td>月末登録者</td><td>345 名</td><td>335 名</td><td>358 名</td><td>407 名</td><td>402 名</td><td>381 名</td></tr><tr><td>営業月</td><td>10 月</td><td>11 月</td><td>12 月</td><td>1 月</td><td>2 月</td><td>3 月</td></tr><tr><td>月利用者数</td><td>41 名</td><td>39 名</td><td>42 名</td><td>44 名</td><td>43 名</td><td>45 名</td></tr><tr><td>月末登録者</td><td>381 名</td><td>346 名</td><td>376 名</td><td>322 名</td><td>341 名</td><td>343 名</td></tr></table>	営業月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	月利用者数	36 名	34 名	39 名	43 名	43 名	44 名	月末登録者	345 名	335 名	358 名	407 名	402 名	381 名	営業月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	月利用者数	41 名	39 名	42 名	44 名	43 名	45 名	月末登録者	381 名	346 名	376 名	322 名	341 名	343 名	計画稼働率からの達成率 67.0%
営業月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月																																								
月利用者数	36 名	34 名	39 名	43 名	43 名	44 名																																								
月末登録者	345 名	335 名	358 名	407 名	402 名	381 名																																								
営業月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月																																								
月利用者数	41 名	39 名	42 名	44 名	43 名	45 名																																								
月末登録者	381 名	346 名	376 名	322 名	341 名	343 名																																								
職員配置	●予算人員 所長 1 名（すずうらホーム施設長兼務） 監督職 1 名（生活相談員兼務） 生活相談員 2 名（1 名介護職兼務） 看護職（非常勤）1 名 介護職 6 名（常勤換算 5.6 人） 合計 10 名	●実績人員 所長 1 名（すずうらホーム施設長兼務） 監督職 1 名（生活相談員兼務） 生活相談員 2 名（1 名介護職兼務） 看護職 1 名（非常勤職員） 介護職 6 名 ※常勤換算 5 名 合計 10 名 ○年度途中の入退職・異動など 退職 1 名（非常勤介護職員） 入職 1 名（非常勤介護職員）																																												
処 遇 の 特 例 事 項	●感染症予防・拡大防止対策・・マニュアルに基づいた対策を行う ●事故・怪我対応・・マニュアルに基づいた対策を行う。	●感染症の状況 ・事業所内感染報告はなかった。 ●事故発生件数…受診を要する怪我 0 件 ●苦情解決…苦情解決委員が招集される苦情はなし	●感染症について ・あらゆる感染症予防対策を講じると共に、感染拡大防止策を徹底して行った。 ●事故防止について ・事故防止マニュアルに基づいて対策を実施した。																																											

項目	令和 6 年度 事業計画	令和 6 年度 事業実績	令和 6 年度 事業実績 具体的内容	
重点目標	① 運営の安定を図る ○利用者の満足度を高める ・継続性のある活動プログラムを提供し、利用率向上を目指す。(編み物、木工、刺し子、味噌や梅干しづくり等) ・利用者の通所意欲向上につながる利用者主体のサービスの提供を行い、「やりたい・やってみたい」を実現できる事業所を目指す。 ○地域共生社会の実現 ・地域づくりを推進するために、地域とつながるきっかけづくりを継続していく。(にじいろマルシェ、交流サロンやサークル活動、体操教室の実施) ○新規利用者獲得に向け、外部居宅介護支援専門員との信頼関係の構築 ・新規パンフレットの配布等を行い、事業所認知度向上を目指す。 ・SNS を活用し、事業所の活動内容を発信する。 ② 職員育成強化 ○より良い職場・サービスのための業務改善 ・職場環境の更なる整備・可視化し、現状の業務をより安全・正確・効率的に行うことを目的に取り組む。 ・業務明確化と役割分担をし、職員それぞれが従事する業務に向き合う。 ・標準的な手順に則り指導できる OJT の仕組みづくりを行う。 ○委員会の運営・研修を行う ・BCP（事業継続計画）の運用をする。 ・高齢者虐待・身体拘束等の適正化に対する委員会と研修会の定期開催を実施する。 ○感染症対策の強化 ・あらゆる感染症に対し、職員の知識を高め利用者処遇に活かす。	① 運営の安定を図る ○利用者の満足度を高める ・継続性のあるプログラムを提供し利用者が「やりたいこと」を主体的に取り組めるようにした。 ・デイサービスに通う目的を大きく分類し個別サービスを実施した。 ・おやつ時間の利用者満足を向上させた。 おやつ宅配業者「たびする」と契約し毎月1週間分のおやつを購入した ○地域共生社会の実現 ・にじいろマルシェを毎月開催し地域で活動している方たちとの情報交換ができた。 ○新規利用者獲得に向け、外部居宅介護支援専門員との信頼関係の構築 ・事業所認知度向上を目指す広報活動を実施した。 ・広報誌を毎月配布した。また、イベント時の様子をSNSで配信した。 ② 職員の育成強化 ○より良い職場・サービスのための業務改善 ・情報共有の方法として IP 電話を積極的に活用した。 ・業務全体の見直しを行い業務の標準化をした。 ・業務チェックシート作成、活用した。 ○委員会の運営・研修を行う ・高齢者虐待、身体拘束委員会を年1回開催した。 ・事業継続計画（災害、感染症）研修の実施と訓練を実施した。 ○感染症対策の強化 ・感染症発生時フローチャートの再確認と職員周知ができた。	① 運営の安定を図る ○利用者満足度を高める ・編み物や縫物、折り紙など、手先を動かしながら頭を使う作業を行うことで、脳に刺激を与え認知機能の維持や手作業に集中することができ、ストレスや不安の軽減につながった。また、自身が作った作品を他者に披露することで達成感や満足感をもたらし自信を高めることが出来た。 ・買い物、外出支援など利用者の要望に沿った活動を実施し、生活の質の向上につながった。 ・ひと月のうち1週間をおやつ週間とし、全国の銘菓を提供することでお菓子を通じて昔の思い出や出身地の話しで会話が弾んでいた。 ○地域共生社会の実現 ・地域の高齢者の方たちにも大勢足を運んでいただき、地域ニーズを知ることができた。また、趣味で制作した物を販売する場所としてにじいろマルシェに参加していただけた。 ○新規利用者獲得に向け、外部居宅介護支援専門員との信頼関係の構築 ・通所中の利用者の担当介護支援専門員に活動の様子や昼食、夕食献立、月間活動予定表などを毎月発送し連絡を密にとることで、居宅介護事業所の他介護支援専門員からの見学希望、体験利用などの問い合わせが増え、新規契約にもつながった。 ・夕食持ち帰り弁当が好評で問い合わせも増えた。また、利用者家族からの口コミで通所契約につながった例も数件あった。 ・9月に「活きたリアルな現場の声」を発信する情報発信サイトエッセンシャルワーカータイムズの取材を受け事業所の特徴を広報することができた。 ② 職員の育成強化 ○より良い職場・サービスのための業務改善 ・IP 電話を日々の業務で使用することで、タイムリーな情報共有ができ対応が迅速化した。 ・業務内容とタイムスケジュール、担当を可視化でき業務の抜けが減った。 ○高齢者虐待、身体拘束について内部で学習会を行った。 - 収録型研修を視聴し学習会、虐待の芽チェックシートを実施した。 ・BCP（事業継続計画）訓練を実施した。 感染症・・・感染疑い者発生時の対応訓練（感染疑い者の隔離する場所、防護具の着用方法などの確認）と感染拡大防止訓練を行った 災害・・・毎月の避難訓練に避難場所（屋外）までの移動訓練と机上訓練（家族への連絡、引き渡し）を行った。	達成率 90% ・通所介護に通う目的をより明確に可視化し、利用者のモチベーション向上や、より効果的な介護サービスの提供につなげる。 ・次年度は目標設定シートを使用し、目標、達成度、評価などを記入し可視化する。 ・地域ニーズに応える取り組みを行う。（高齢者向け健康増進活動、地域での交流の場づくり）
				達成率 100%

< 令和 6 年度 事業計画 >

令和 6 年度 すずうら居宅介護支援事業所 事業報告（案）

令和 7 年 5 月 21 日 作成

項目	令和 6 年度 事業計画	令和 6 年度 事業実績	令和 6 年度 事業実績 具体的内容	達成度
利用定員	●予算定数 ケアプラン作成利用者数 78 件／月 延べ 936 件	●実績 居宅サービス計画書作成延べ件数 870 件 月平均件数 72.5 件 ・新規契約者 37 名 ・事業所解約者 30 名 (施設入所 13 名、永眠 17 名) ●認定調査受託件数 区内、他区・他県からの認定調査受諾件数 188 件	●実績人員 ・要介護者事業所契約者数 利用者数 当初予定 年間延べ 936 件 / 実績 870 件 ・要支援の方も多くなり、要介護認定を受けた方の事業所契約数は減少したが、施設入所希望者、永眠での解約者数が多かった。 ●認定調査受託件数 累計 188 件	●実績人員 達成率 95% 事業所契約数の目標件数に満たなかった。
職員配置	●予算人員 管理者（兼務） 1 名 介護支援専門員 常勤 2 名 非常勤 1 名（育児休暇取得中） 計 3 名	●年度途中の入職・退職 ・配置状況 管理者（兼務） 1 名 常勤 2 名 非常勤 1 名（育児休暇取得中）	●実績人員 管理者 1 名（兼務） 介護支援専門員 常勤 2 名 非常勤 1 名 計 3 名 非常勤⇒令和 5 年 12 月より産前産後休暇・育児休暇取得	
処遇の特例事項		●苦情解決…苦情解決委員が招集される苦情はなし		
重点項目	① 運営の安定化を図る ② サービスの資質向上に努める ③ 医療との連携を強化	① 運営の安定化を図る ○他居宅介護支援事業所の閉鎖や介護支援専門員退職に伴い、事例引継ぎの依頼があった。 ○気温が下がるにつれ状態が悪化する高齢者も多く、事業所解約や長期入院者も増え、給付に繋がらない事案も多かった。 ② サービスの資質向上に努める ○事業所内で委員会及び研修を行った。 ・感染症委員会、虐待予防委員会等 ・虐待研修、認知症研修、ハラスメント研修等 ○業務継続計画の定期的な見直し、他事業所との連携及び事業所としての検証を行った。 ○地域ケア会議に出席し、地域との関係性作りを行った。 ○居宅が窓口となり当法人の併設事業所を紹介し、サービス利用につなげた。 ③ 医療との連携を強化 ○かかりつけ医や入院先医療機関、医療サービス事業所と連携を図り在宅生活を安心して送れる環境作りの提案を行った。 ・通院同行や訪問診療の診察に立ち合い、医師の意見を盛り込んだ居宅サービス計画書の作成を行い、疾患に対して本人・家族が不安なく在宅生活を送れるように支援した。	① 運営の安定化を図る ・一時、事例引継ぎ件数で、事業所契約数は増加したが、下期に入り、永眠、施設入所が続き、事業所解約者が増加した。 ② サービスの資質向上に努める ○事業所内での委員会、研修等、令和 6 年度より事業所内での義務研修が増加し、下記の研修を実施した。 ・高齢者虐待予防、認知症、プライバシー保護、介護倫理、ハラスメント、感染症、業務継続計画に関する研修等 ・近年、高齢者虐待ケースが増加傾向にあり、困難事案と捉え、地域包括支援センターと共に同行訪問を実施、毎月の報告を行った。 ・地域包括支援センター主催の地域研修へ積極的に参加した。 ・併設事業所（通所介護、短期入所生活介護）への紹介を行い、サービス利用につなげた。（すずうらホーム入所 4 件） ③ 医療との連携を強化 ・医療機関やかかりつけ医への情報提供をおこなった。 ・入院時や退院時には医療機関 MS と連携し、退院時カンファを開催。関係事業所の参加も促し、本人・家族の不安解消に向け、居宅サービス計画書作成を行った。 ・通院同行や訪問診療時立ち合い、医師・医療機関との関係性を構築した。	達成率 95% 新規申し込み利用相談を受け入れ、事業所契約数の増加を目指す。 達成率 100% 達成率 100%

令和 6 年度 事業報告（案）

施設名 すずうら居宅介護支援事業所